

インドネシア共和国
農業統計技術改善・訓練計画
長期調査員報告書

平成 6 年 3 月

国際協力事業団

LIBRARY

農開技
JR
94-15

JICA LIBRARY



1121515 [9]

国際協力事業団

28177

インドネシア共和国
農業統計技術改善・訓練計画
長期調査員報告書

平成 6 年 3 月

国際協力事業団

序 文

国際協力事業団（JICA）は、インドネシア共和国政府の要請を受け平成5年8月、インドネシア農業統計技術改善・訓練計画に関する事前調査を実施いたしましたが、その調査報告書を踏まえ、平成6年1月18日から2月15日まで長期調査員2名を現地に派遣しました。

同調査員は、本プロジェクトの開始に必要な現地調査及びインドネシア共和国政府関係者との協議を行いました。

本報告書は、同調査員による調査結果等を取りまとめたものであり、今後、本プロジェクトの実施の検討に当たり広く活用されることを願うものです。

終わりに、この調査にご協力とご支援をいただいた内外の関係各位に対し、心より感謝の意を表します。

平成6年3月

国際協力事業団
農業開発協力部
部長 有川通世



▲ 西ジャワ州バンドンにある農業省地方事務所でのモデル地区視察打合せ



▲ セラン県の魚市場付近で、現地職員からの聴き取り調査



▲ スカブミ県食用作物部 (Dinas Pertanian) での統計の現状聴き取り調査



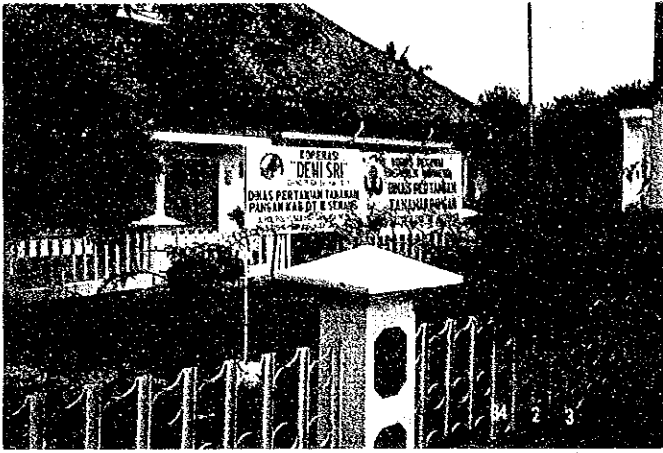
▲ スカブミ県水産部 (Dinas Perikanan) の建物



▲ ジャカルタ郊外の魚市場



▲ スカブミ県にある魚市場、一昨年建替えが行われ新しく清潔になった



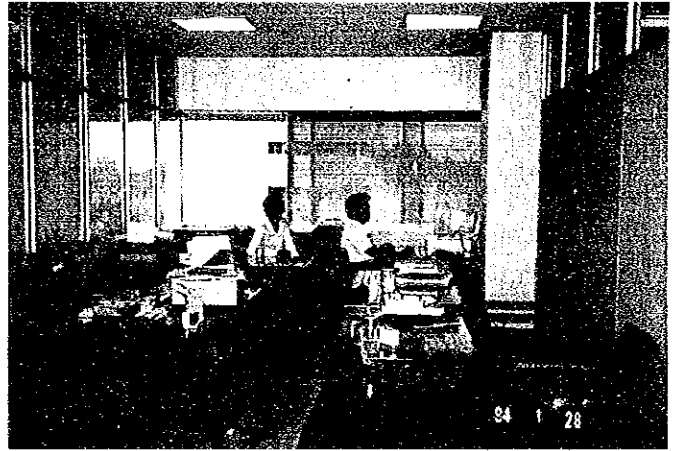
▲ セラン県食用作物部 (Dinas Pertanian) の建物



▲ 議事録署名後の交換風景

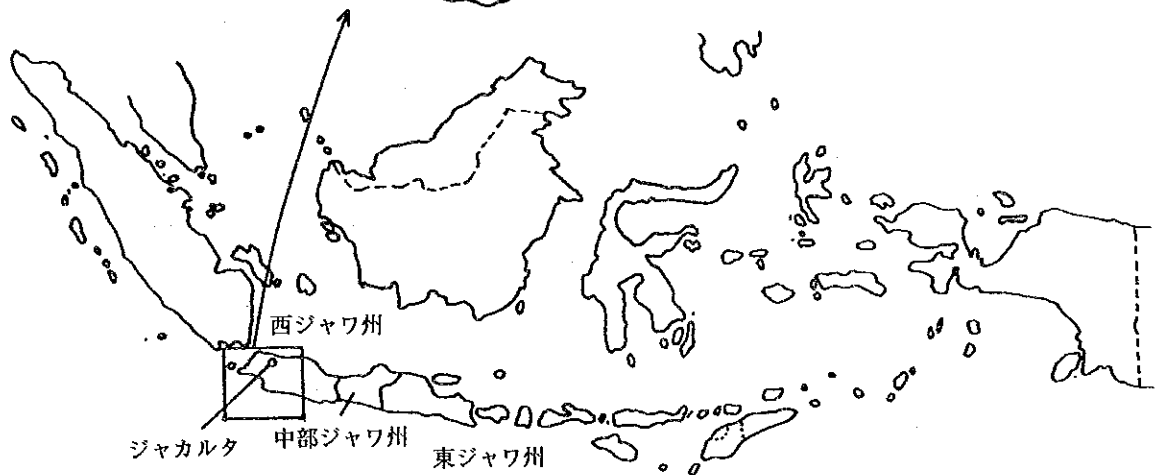
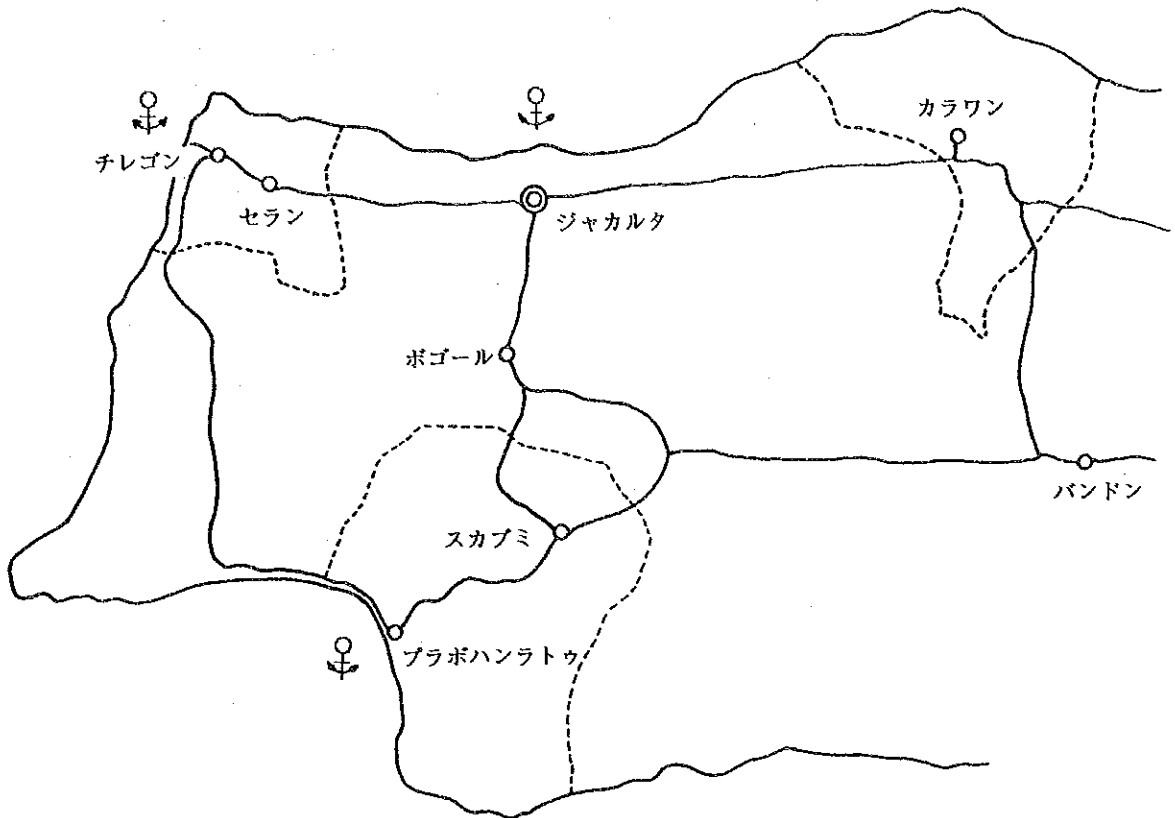


▲ スカブミ県ブラボハンラトゥの魚市場風景



▲ 派遣専門家用に予定されている事務所

位置図



目 次

序 文
写 真
位 置 図

1. 長期調査員の派遣	1
1-1 派遣の経緯	1
1-2 目 的	1
1-3 調査団構成	2
1-4 調査日程	2
1-5 主要面談者	3
2. 長期調査員の調査事項	5
3. 調査結果	6
3-1 前提条件の概要	6
(1) CADの組織、人員、機能及び法的位置付け	6
(2) CAD、DGF C及びDGFにおける有資格インドネシア人C/P職員	6
(3) 農業者の各総局及びCBSの協力体制	7
(4) プロジェクト予算	7
(5) モデル地区における活動をサポートする施設	8
(6) 研修用建物及び施設	8
3-2 モデル地区の選定	8
3-3 データベース協力の可能性	9
3-4 研修計画	12
3-5 そ の 他	20
4. ま と め	24

附 属 資 料

1. CAD組織図	27
2. インドネシア側カウンターパート職員	28
3. CADからCBSへ宛てた協力要請文書	29
4. CBSの将来構想	31
5. 統計調査機構	33
6. CADの見取り図	34
7. モデル地区の概要	35
8. コンピュータのハードウェア構想(案)	36
9. ネットワークの将来構想(CAD)	37
10. データベースシステムのハードウェア構成	38
11. データベース収録データ一覧表	39
12. 月例報告に利用した統計一覧	41
13. 議事録・暫定実施計画(英文)	53
14. 議事録・暫定実施計画(和文仮訳)	65

1. 長期調査員の派遣

1-1 派遣の経緯

インドネシアの農業部門は、国内総生産の約2割を占め、就業人口の約5割を吸収しており、同国の開発計画において重要な役割を果たしている。このため、農業部門の開発に関する計画と政策決定が適切に行われなければならないが、これには、必要なデータ、情報がタイムリーかつ正確に入手可能であることが重要となる。

しかしながら、インドネシア農業省が実施している統計調査は、各総局により、それぞれの担当分野ごとに行われていたため、精度が低く、集計作業も遅れていた。このため、同省は1990年に省内の統計調査活動を調整するために、農業データセンター（CAD）を設立した。

他方、必要とされる農業データのカバレッジが低いこと、技能のある職員が少数であること、現行の農業統計業務においては調査票が実態に沿わない、調査結果の正確性、信頼性に疑問があること、また、集計に時間がかかりすぎることで、等解決すべき課題があることから、

- ① 統計手法・通信の改善
- ② 人的資源開発・機器整備による活動能力の改善
- ③ 専門家からの知識・技能の移転

を目的とするプロジェクト方式技術協力を1993年3月17日付「農業統計情報管理システム開発計画(ATA-449)」として我が国に要請した。

この要請を受けて、1993年5月、6月の各省会議において日本側の対応を検討したうえで、以下の基本的目的をもって事前調査団を派遣することが決定された。調査団は1993年8月18日から28日の期間、インドネシアに派遣され、調査を実施した。

- ① 要請内容について確認するとともに、プロジェクト方式技術協力実施の可能性を、技術面、プロ技協スキームとの整合性の両面から確認し、結果を団長レターにとりまとめる。
- ② プロジェクト方式技術協力実施の可能性が確認された場合は、日本側の協力基本計画のとりまとめを行う。
- ③ 長期調査員の派遣の要否と調査項目についても検討する。

なお、事前調査の結果として確認された内容は、事前調査団報告書に記載されたとおりである。

1-2 目的

事前調査団の調査結果により、協力を開始する前に確認すべき事項とされた前提条件の整備状況の確認、モデル地区の選定、カウンターパート(C/P)の選定等につき調査することを目的

として、長期調査員を派遣する。

1-3 調査団構成

担当業務	氏名	現職
農業統計／集計技術	加藤 哲也	農業水産省経済局統計情報部情報システム課 システム技術班利用技術係長
技術協力	正崎 雄三	国際協力事業団農業開発協力部特別嘱託

1-4 調査日程

月日(曜)	概要
1月18日(火)	成田 → ジャカルタ
19日(水)	大使館、JICA事務所、CAD(専門家のための事務室、機械室、研修室の視察)
20日(木) ↓ 22日(土)	CAD(プロジェクト関係者との協議)
23日(日)	資料整理
24日(月) ↓ 29日(土)	CAD(プロジェクト関係者との協議) ・新庁舎移転、組織改編、データベース、研修等に関する協議
30日(日)	資料整理
1月31日(月) ↓ 2月4日(金)	現地調査(農業省西ジャワ州事務所(バンドン)、 県事務所(スカブミ、セラシ、カラワン))
5日(土)	CAD(プロジェクト関係者との協議)
6日(日)	資料整理(ミニッツ案作成)
7日(月)	CAD(プロジェクト関係者との協議)
8日(火)	CBS訪問(スワンディー農業統計部長との面会)
9日(水)	CAD(プロジェクト関係者との協議)
10日(木)	ジャカルタ漁港視察
11日(金)	CAD(プロジェクト関係者との協議)
12日(土)	CAD(プロジェクト関係者との協議)、ミニッツ署名
13日(日)	資料整理
14日(月) ↓ 15日(火)	国家開発企画庁訪問(ワルダニ農林業局長へ報告) JICA事務所へ報告 帰路(ジャカルタ → 成田)

1-5 主要面談者

(1) 国家開発企画庁 (BAPPENAS)

Dr. Wardani 食料・農業・林業担当局長

(2) 農 業 省

<農業データセンター (CAD)>

Dr. Ir. Ato Suprpto 所長
Drs. Rande Pongbulaan 総務課長
Drs. Suroto Adi MSc. データ収集課長
Dr. Ir. Tjuk Eko プロジェクト・リーダー
Dr. Togar Napitupulu データ集計課長
Ir. Tassim Billah MSc. センター所員
Ir. Yasid Taufik ◊
Ir. Edi Asharlono ◊
Ir. Susana MSc. ◊
Ir. Wieta B Komalasari ◊

<食用作物総局>

Mr. Sutarno BSt 食用作物統計課長

<水産総局>

Ir. Sihar Siregar 水産統計課長

(3) 農業省西ジャワ州地方事務所 (KANWIL)

Arief Santosa 農業担当
Suyono 地域計画
Ratman 農業担当
Hadiatin 農業担当
Nonne 水産担当
Ida 水産担当

(4) 西ジャワ州政府

<食用作物農業部 (Dinas Pertanian Tanaman Pangan)>

スカブミ県

Wawan 農業統計担当

Ace ◊

セラシラン県

Ehat Mahatma 農業統計課長

Suwastri	農業統計担当
Mansur Gunawang	◇
<u>カラワン県</u>	
Lili Tasli Sudarmin	農業統計担当
〈水産部 (Dinas Perikanan)〉	
<u>スカブミ県</u>	
Didi Kusnadi	水産統計課長
Herdi Setiawan	水産統計担当
<u>セラン県</u>	
Danny Rodjak	水産統計担当
Djadja Sudradjat	◇
<u>カラワン県</u>	
Ir. Odi	カラワン漁業事務所長
Abd. Rohman	水産統計担当
(5) 中央統計局 (CBS)	
Suwandhi Sastrotaruno	農業統計局長
(6) 個別派遣専門家	
紫村 次晴	個別専門家
及川 章	◇
奥秋 健司	◇
(7) 大使館	
角谷 徳道	一等書記官
(8) JICA事務所	
岡崎剛一郎	所長
熊谷 晃	次 長
宍戸 健一	所 員

2. 長期調査員の調査事項

事前調査団が団長レターの中で明記した前提条件の整備状況について確認する。

- ① CADの組織、人員、機能が明確に規定される
- ② CAD、食用作物総局、水産総局から必要なC/Pが確保される
- ③ 農業省関係各局及びCBSから協力が得られる
- ④ CADの予算が確保される
- ⑤ モデル地区でのプロジェクト活動を支援する施設が保証される
- ⑥ 研修用の建物、施設がインドネシア側で確保される

また、具体的な調査事項としては、

- ① モデル地区の選定
- ② データベースの協力の可能性とその内容
- ③ 必要な供与機材（特にコンピュータの導入規模）
- ④ 各総局から出向予定のC/Pの人選
- ⑤ 研修計画についての詳細な詰め（中堅技術者養成対策事業との関係）
- ⑥ その他プロジェクトの開始に当たって必要不可欠な事項の詳細

となっている。

3. 調査結果

3-1 前提条件の概要

(1) CADの組織、人員、機能及び法的位置付け

この事項については、事前調査の中ですでに確認されており、長期調査員は、これらの事項が、事前調査以降、変化があったかどうかの確認を行った。

その結果、組織体制について94年度からCADの機能の拡充及びプロジェクトの円滑な推進を図ることを目的に、CAD内部の組織改編を行うこととしている。

なお、改編後の課及び班の構成は、付属資料1. のとおりであるが、特徴としては、第一に分析・発表課の新設を行い、CADの位置付けを高めるためデータ利用、分析及び発表技術の高度化を図ることを目的としている。

また、この課には、プロジェクトの円滑な推進を補佐するために、プロジェクト及びJICA等との連絡窓口機能を持たせた計画協力班を設置している。

第二に従来からあるデータ処理課の中のデータベース班について、今後、農業統計及びその関連データについての利用、分析、発表等の高度化、一元化、さらに各種農業統計調査の重複を排除するための調整機能の充実等を図るために、あらゆるデータの蓄積を行うこと、また、行政ニーズに対応した情報提供体制を整備し、行政の企画・設計に当たっては常に最新のデータによりインドネシアの農業状況が把握できるようにすること、等を目的に、人員、任務を充実強化した。

(2) CAD、DGFC及びDGFにおける有資格インドネシア人C/P職員

事前調査の時に確認された6名（CAD）のC/Pリストをもとに、未確定であった食用作物総局と水産総局からのC/Pの任命を要請した。また、インドネシア側は、C/Pの重要性を踏まえ、C/Pの増を検討していた。

その結果、本プロジェクトにおけるC/Pは、CADから12名、食用作物総局から3名、水産総局から3名の計18名が任命された。

業務分担としては、農業統計が食用作物総局の3名とCADの3名の計6名、水産統計が水産総局の3名とCADの3名の計6名が担当することとなった。

このことにより、調査の企画設計を行う各総局と調査結果の加工分析発表を行うCADの双方に対し、統計方法の改善手法の研修を始め、その開発や試行に至るまでを実施することが可能となり、本格実施への移行に際し円滑な推進が図られるものと考えられる。

また、集計技術に関しては、CADの今後の機能拡充を図るためにはデータ利用の高度化を

実現させるデータベース技術の修得が不可欠なことから、4名のC/PをCADから任命した。

さらに、本プロジェクトで実施する統計方法の改善に当たっては、その改善手法を現場で実施する統計担当者（県・郡レベルの農業・水産担当職員）に対する研修が最も重要な活動となることから、研修に係るC/Pを2名、CADから任命した。

(3) 農業省の各総局及びCBSの協力体制

農業省からCBSにあてた、プロジェクトに対する協力依頼文書及びその添付書類である事前調査団団長レターにより、プロジェクト活動の内容として水稻及び二次作物の面積調査に関する手法の改善を実施することが明記されており、その協力依頼に対して全面的な協力を約束する回答文書がCBSから農業省に出されたことにより、CBSからの協力体制は確認されている。

また、長期調査員は滞在期間中の2月8日にCBSへの表敬訪問を行い、スワンディー農業統計部長から本プロジェクトの目的、活動内容について理解を求めるとともに、プロジェクトに対し全面的な協力を約束する旨の確認を得た。

(4) プロジェクト予算

長期調査員は、CAD所長Dr.アトーとの協議の中で、プロジェクトの活動に必要なインドネシア側予算について、R/D締結後速やかに国家開発企画庁（BAPPENAS）に対し農業省から予算要求することを確認した。

また、プロジェクト経費の内訳として下記の事項が含まれることを確認した。

- ① プロジェクト運営経費
- ② 機材及び車両等の維持管理費（モデル地区含む）
- ③ 研修経費
- ④ C/Pの旅費
- ⑤ その他必要と認められる経費

なお、プロジェクトの開始が予定される94/95年度の予算については、経常経費で6億Rp（前年比10%増）、開発経費で9億Rp（前年比450%増）が確保される見込みとなっており、プロジェクト開始年度の経費については、この予算の中で充分対応可能であることが確認された。

なお、CBSのスワンディー部長は、CBS、農業省、食糧調達庁の3省庁でLANを構築し、そのLANを公衆回線で接続したオンライン構想を持っており（付属資料4.）、本プロジェクトの活動はこの構想の実現のためにも大変有効である、とコメントし、CBSはこの構想のために94/95年度予算で10億Rpを確保する予定で国家開発企画庁（BAPPENAS）からの約束

を取り付けている、と述べた。

(5) モデル地区における活動をサポートする施設

選定した2つのモデル地区の県事務所において、R/D締結後プロジェクトの開始までに、以下に記す施設がインドネシア側により確保されるよう要請した。

また、現地調査において2つのモデル地区の県事務所（食用作物事務所、水産事務所）の施設等の状況を視察した結果、専門家及びC/Pが行うプロジェクト活動に当たっては十分な設備を有していると判断された。

① 県事務所における専門家、C/Pの事務スペース及び電気通信施設

② モデル地区における研修用施設

なお、本プロジェクトの大きな目標である統計手法の改善に当たっては、現場の調査を担当している県・郡の農業・水産担当職員の協力がなければ正確な統計データの収集が不可能なことから、彼らに対し調査の実施の指示、調査マニュアルの説明及び研修等を行う任務を持っている県事務所の統計担当者の役割は、非常に大きなものとなっている。

このようなことから、本プロジェクトに対するモデル地区の事務所からの協力は不可欠なものであり、今回の現地調査において選定した2つのモデル地区において、本プロジェクトの目的や活動内容等の説明をした結果、両地区とも本プロジェクトに対し期待するとともに、モデル地区に選定されれば全面的な協力を行う、とのコメントが得られた。

(6) 研修用の建物及び施設

事前調査で確認されたとおり、講義室、実習室及び研修用設備については、その準備は整っている。

なお、1995年4月に予定されている新庁舎への移転に際しては、現在準備している施設及び設備と同等またはそれ以上のものが確保されるよう、CAD側に強く要請し了解された。

（現在の庁舎でCADが専有している面積は1,100㎡あり、新庁舎で得られる面積は1,250㎡になる予定である。）

3-2 モデル地区の選定

モデル地区選定に当たっては、事前調査の段階においてインドネシア側から提示された、スカプミ、チレボンに加え、今回新たに提示されたセラン、カラワン、スパン、ボゴールを加えた計6県をモデル地区候補地とした。

また、モデル地区で行うこととしている異なった土地利用、農業生産、農家階層構成の地区間での、調査方法の比較作業等を考慮し、極力、西ジャワ州20県の平均レベルに近い県を選定

することに努めた。

さらに、プロジェクト活動を円滑かつ効果的に行う条件として、

- ① 県事務所の位置がジャカルタにできるだけ近いこと
- ② 経験と能力を有する農業統計職員が配備されていること
- ③ 機材の管理体制が整っていること
- ④ 海に面し、主要陸揚地に指定された漁港のあること（水産統計）
- ⑤ 水稻及び二次作物の作付面積が西ジャワ州の平均以上であること（食用作物統計）

が設定されており、これらを総合的に判断し、スカブミ、セラン、カラワンの3県で現地調査を行うこととした。

その結果、県事務所の設備・環境及びプロジェクト活動に対するサポート体制等を考慮し、スカブミ、セランの2県をモデル地区として選定した。

カラワンについては、農業の状況、特に灌漑施設等は大変整っているが、本プロジェクトが行おうとしている面積調査に関しては、公共事業省が行っている航空写真により水田面積が把握されていること、さらには、この水田地帯はダムの水を利用しており、県内を4つのグループに分け、それぞれ時期を定めて15日間の放水をするなど、緻密な管理がなされており、面積調査に関する統計改善計画の説明に対しても、協力的な対応が確認されなかった。

また、このような地区の状況をもとに改善計画を作成したとしても、他地区、特に外領に至っては、それが適用可能とは考えられない。

以上のことから、カラワンについては農業及び漁業の状況、県事務所の設備・環境については問題はなかったが、モデル地区とするには適さないと判断した。

3-3 データベース協力の可能性

(1) CADにおけるデータベースの状況

CADのデータベースは、データ処理課データベース班（ドアNO314）の部屋に設置されておりハードウェアとしては、パーソナルコンピュータ（メモリ640KB、HD40MB）1台をスタンドアロンで利用する形態で、プリンターも接続されておらず、電話等による回線接続もされていない状態で運用されている。

ソフトウェアは、「Rsds 3」（Regional Statistics Data-base System）という名称を付けたパソコン用ソフトの「Dbase-III」を利用している。

収録データは、州別、年次別だけであり、付属資料11.のデータベース収録データ一覧表に記載されているほど入っているとは思えなかった。

（10分程度デモを実施してもらったが、我々が要望したデータについては、いずれも未収録であった。）

また、利用状況は年次報告書の作成時に利用（年1回）しているだけである。なお、データベースに関する予算は豊富にあり、93/94年度の開発予算7億Rpのうち4億Rpがデータベース開発予算となっている。

(2) 各総局 (DGFC、DGF) におけるデータベースの状況

食用作物総局及び水産総局においては、コンピュータに蓄積したデータベースは何もなく、報告書、統計資料等ペーパーで保存しているだけであった。

(3) CBSにおけるデータベースの状況

CBSが構築運用を行っている「CBS統計情報システム」を始めとする各種データベースの状況について、CBSのスワンディー氏に確認を行ったところ、これらのデータベースシステムについては明確な表現はなされなかったものの、システムの利用、データの蓄積、メンテナンス等はほとんど行われておらず、その機能は果たされていない状況である。

このため、CBSでは94/95年度予算で10億Rpを確保する予定で農業省、食糧調達庁、CBSの3省庁をオンラインで接続し（各省庁の内部は光ファイバーによるLANの構築を行う）、それぞれの省庁のデータベースを有機的に結合し、農業統計を始めとする各種情報の効率的利用を図ろうとしている。

(注：インドネシア国駐在日本コンピュータメーカーによると、同国の通信環境は公衆回線によるデータ転送を行うには、まだ未整備の点が多く、また、その信頼性も著しく低いものとなっているため、公衆回線を利用したオンライン通信は時期早尚であるとのことである。)

(4) CADにおけるデータベースの将来構想

今回の調査の中で、CAD側からデータ利用に関して、プロジェクト活動の中で明確に位置付けてもらいたい旨、強い要望が出された。

特に、今回予定しているCAD組織の改編に当たっては、分析発表課の新設やデータベース班の拡充等に見られるように、統計データ利用（加工・分析を中心とする）の高度化、効率化を最大の目的としている。

さらに、CADではインドネシア全土をオンラインで結び各州、各県に地域データベースを構築し、そのデータベースとCADのデータベースを連携させた分散データベース構想を持っており、その実現のためにも、本プロジェクトの中でデータベースのノウハウを修得したいとの意向が強く打ち出された。

(5) CADにおけるデータベースの必要性

インドネシアの農水産業は国内総生産の2割を産出し、就業人口の5割を吸収しており、したがって、同国の開発計画においても重要な位置を占めている。長期・中期の如何を問わず、国家の経済開発等の企画立案のためには、必要な情報・データがタイムリーに入手でき、かつ、それらが正確で、信頼できるものでなくてはならない。

インドネシア農水産業に関する統計情報としては、数多くの多様なものが作成されている。

しかし、これらの統計データは、(a) 正確度、信頼性に欠けるものが多い、(b) 作成されたデータが農業省を始めとする政策企画立案者にタイムリーに、また、利用しやすい形で提供されていない、という問題を抱えている。これらの事態を改善するには、(a) については調査方法の改善、(b) については作成されたデータを速報、統計書、コンピュータ・データとしての提供を、可能な限り速やかに、かつ、きめこまかく行うための改善を実施することが必要である。

後者、すなわち統計データの利用面の改善に強く着目しつつ、農業省(MOA)内の統計業務の機能を総合的に強化するためには、各総局の統計担当課で独自に行われている統計作成業務を総合的に調整する必要があるとの見地から農業省は、事務次官直属の農業データセンター(CAD)を1990年に設立した。このように組織体制は整備されたものの、そのハード、ソフト及び人的資源は不十分な状況となっている。具体的には、これらのデータを扱うコンピュータ施設とそれを動かすためのソフトウェア、そして、それらを使って統計データ利用を行うノウハウと経験を持つ職員が足りないことである。

CADに特に期待されているのは、豊富ではあるが、農業省の各総局においてばらばらに作成されている農業水産統計を一元的に集約し、整理・編集し、蓄積して、政策担当者に迅速・簡便に提供することである。この機能は、現在CADが構築しているデータベースシステムでは実現できないことはもちろんのこと、統計担当課のファイルや統計書でも十分に果たすことはできない。

これらの実現のためには、最新のコンピュータ技術に基づくデータベースへのデータ蓄積と利用が、最も適しているといえる。このことは多くの国及び機関において実証済みであるか、インドネシアにおいても極めてよく当てはまると考えられる。

しかしながら、CADは統計データベースの企画、設計、構築及び利用に関する知識、経験に乏しく、したがって、プロジェクトによる技術支援が不可欠と考えられる。

長期調査員は、CAD側との協議の中で、データベースをプロジェクト活動に含める必要性は理解したが、事前調査団が指摘した事項(データベースの利用者、利用方法、収録情報及びプロジェクトの守備範囲等が明確にされる必要がある)を踏まえて、データベースの内容

としては、以下のとおりとする。

- ① データベースの利用者は農業省職員、州事務所・県事務所職員、及びCBSを始めとする関係機関とする
- ② 利用方法は、LAN及び公衆回線または専用線で接続されているP/C等からデータベースサーバにアクセスする方式とする
- ③ 収録情報は、インドネシア国農水産業主要統計を中心に関連する国際統計までを蓄積する

本プロジェクトで実施する活動範囲としては、機器の設置はシミュレーション用としてCAD、モデル地区の州事務所・県事務所及び食用作物総局、水産総局までをプロジェクトにより整備し、他の設置予定場所についてはプロジェクト対象外とする。(付属資料10.)

また、本プロジェクトで実施するデータ収録範囲は、当面は、現在CADが毎月、農業大臣に対し提出・報告している月例報告書に収録されている統計に限定する等の内容で行い、需要の動向を見極めつつ、順次、範囲を拡大していくことが現実的であると判断される。

3-4 研修計画

3-4-1 農業統計改善に係るインドネシア側の研修計画全体像

インドネシア側の経済発展計画の中で、農業統計の重要性が強く認識されているにもかかわらず、農業省においては統計担当職員の研修事業はほとんど実施されていなかった。CADは、統計調査の開発、改善に係る経験豊かな人材の必要性を痛感し、AET(教育訓練庁)、CBS及び州、県Dinas事務所との協力で、その人材養成事業としての研修訓練を1992年から開始した。それは、1)中央レベルでの農業統計実務担当者の、インドネシア国内の大学、大学院での長期研修の実施、2)地方レベルでは、郡のMantritani(農業統計現地職員)やMantri Ikan(水産統計現地職員)への新人研修、3)TOT構想(Training of Trainers Program)に基づく地方レベル、特に州、県Dinasの統計担当職員の研修の実施である。

中でも、TOT構想に基づいた州、県レベルでのDinas職員研修では、昨年度は3州を対象に計15名を対象として実施し、今年度は10州50名を目標に実施中である。対象になった州では、さらに、末端の県職員、さらに現地職員の研修を実施することが想定されている。とはいえ、農業省及びその指導監督を受ける地方機関の担当職員及び現地職員合わせて全国1万人を数える中で、この程度の研修では充分ではない。

また、こうした養成研修の実施主体としてのCAD自体、その歴史も極めて浅く、職員の大半が実務経験の乏しい職員であり、政府が求めている統計業務に携わる人材を育成していく機能を果たすには多くの困難が予想される。したがって、CADの職員が将来、農業統計部門での指導的役割を果たし、州や県、郡レベルでの地方人材を指導、育成していけるよう、ま

ず当センターの職員並びに関連の各総局を主体として人材を育成することが急務とされている。

インドネシア側のTOTによる研修講師育成計画（各州5名、全国の27州を対象）

〈第一段階〉

実施年度	実施州数	目標育成講師	備考
92/93FY	3州	15名	実施済み
93/94	10州	50名	実施中
94/95	中央(CAD及びDG)組織内の統計講師の育成に変更		20名
-----以下は予定-----			
95/96	5州	25名	
96/97	5州	25名	
97/98	4州	20名	
27州		155名	(このうち20名は中央)

〈第二段階〉

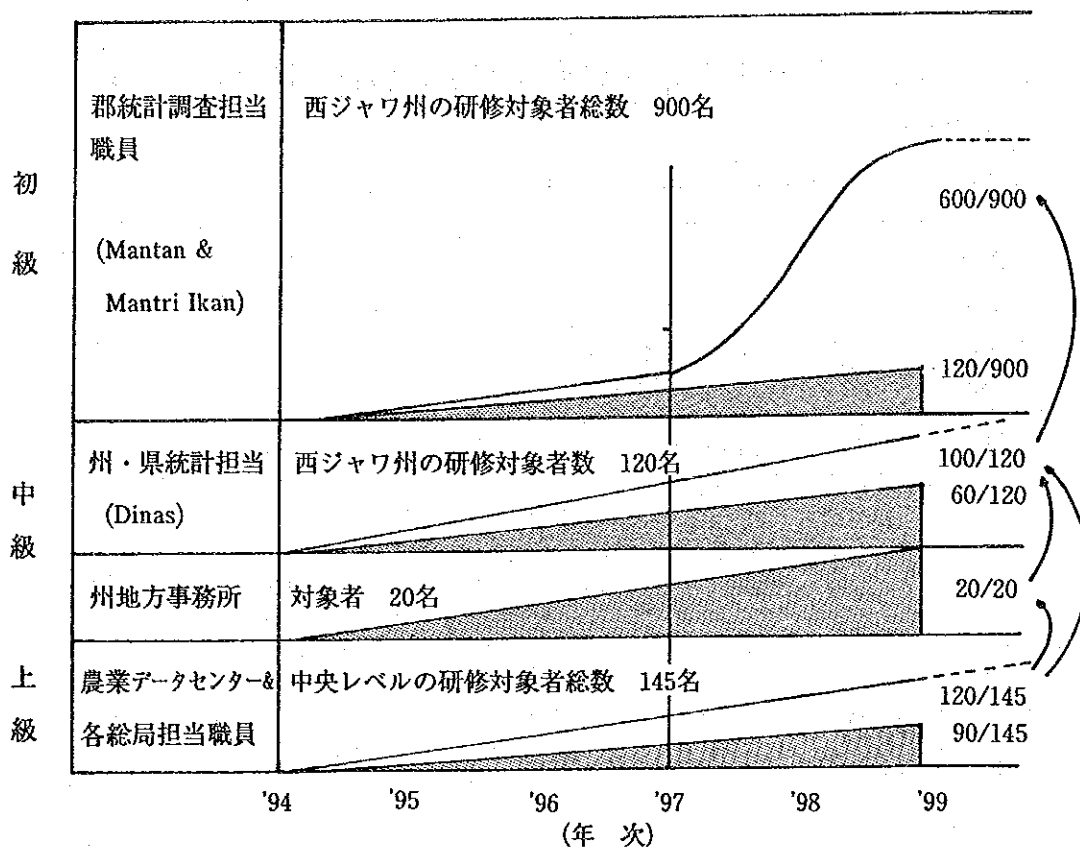
この育成計画により研修を修了した研修講師は、今後それぞれの州内での農業統計研修活動を、州や県の担当者と協力して実施し、地方レベルでの研修講師の育成や研修に当たることが望まれており、この研修講師陣がその後の末端研修を実施する対象人員が1万人を超える。

州レベル

県及び郡レベル

各州5名の研修講師 ==> 州内の平均20県、600郡の統計担当職員700名への研修を実施し、最終的に末端の担当職員約1万人をカバーすることになる。

西ジャワ州農業統計担当職員研修計画と充足率



: プロジェクトで実施する範囲
 : イ側研修全体計画で実施する範囲

- 1) CAD及びDG担当職員の半数以上(90名)を目標として、プロジェクト研修で職員の養成を図る。
- 2) 西ジャワ州のKanwil(農業省州地方事務所)及び州、県DINASの統計担当職員(Kanwil-20名、Dinas-50名)計70名を目標として、プロジェクト研修で養成する。また、研修全体計画の中で研修講師の充実を図る。
- 3) Mantritani及びMantri Ikanの研修は、モデル地区内の2県のみ限定し、計120名をプロジェクト研修で養成する。統計手法の改善に不可欠な、末端の統計担当者研修の重要性を、プロジェクト実施の過程でインドネシア側に充分認識させ、これらの統計職員への研修実施の強化を図るよう指導する。これら統計職員は、さらにPPL(普及員)を指導・教育して現地における調査・情報収集を強化する。中級・上級コースで育成された中央・地方の統計職員が、プロジェクト研修3年目ごろから、引き続き現地調査員の養成を図り、少なくとも全体の3分の2に達するまで継続すれば、研修の効果は具体化すると考えられる。

3-4-2 本プロジェクトの研修計画の特徴と、研修全体計画における位置付け

プロジェクト内での研修計画は、インドネシア側の研修全体計画から生じた問題点を踏まえて、まず当CAD職員のレベルの向上を図ること、そして県、郡レベルの統計職員への直接的な研修の実施と、モデル地区内の統計担当職員への実務に重点を置いた研修を実施するもので、本プロジェクト内の研修計画の特徴として、以下があげられる。

- 1) 中央ではCAD、関連各総局及びKanwilに、地方ではモデル地区内の州、県Dinasに研修対象範囲を限定して、研修の効果を上げる
- 2) 日常のプロジェクト活動を支援するOn the job training形式の研修強化
- 3) 研修目標を中堅技術者集団に合わせ、TOT構想（研修講師の育成）を支援するもの
- 4) 統計データの収集者である郡レベルのMantritaniやMntri Ikan(Dateの入口)への研修強化

以上の特徴から、本プロジェクト研修計画は研修全体計画実施のためのモデルケースとして位置付けることができ、その成果を研修全体計画の推進に効果的に反映させることが強く望まれる。

また、当プロジェクト研修計画の実施で、5年間で養成する人材目標数は、研修講師レベルでは中央及び地方合わせて約130名（そのうちCAD職員は60名）、現場モデル地区のMantritaniやMantri Ikanの実務レベルの研修対象人員は120名と数に限りがある。しかし、一方では全国レベルでのTOT構想に基づく研修講師の地方での養成確保と、当プロジェクト研修計画の中央から下部組織に至る集中した研修システムとを合わせ、効果的かつ実質的な統計職員の研修の成果が全国的に広がることが期待される。

3-4-3 プロジェクト研修事業の目的

農業統計の抱える問題点は、(1)信頼性の高いデータの提供、(2)迅速な統計データの公表、という2点に要約される。この課題に対し、実施主体の農業統計センター及びその関連機関の問題点として、(3)センターの歴史も浅く職員の多くが実務経験に乏しく、(4)将来、農業統計部門での指導的役割を果たし、州や県、郡レベルの地方人材を指導、育成していけるよう、農業統計センター職員関連機関の人材を育成することが急務である。また、モデル地区におけるプロジェクトの活動をより効果的に実施するためには、モデル地区内を監督する州や県DINAS統計担当職員の育成を図るとともに、現場指導主体の郡レベルMantritaniやMantri Ikanの訓練、育成が不可欠である。

3-4-4 プロジェクト研修事業内容

プロジェクト研修活動の主な内容は下記のとおりである。

- 1) 研修計画、カリキュラムの改善

- a. 組織段階別、担当業務別職員の技術レベルの把握
- b. 研修基本計画の作成
- c. 研修計画の具体化とカリキュラムの作成
- 2) 統計業務マニュアル、研修教材の整備、充実
研修対象別に、マニュアル、研修教材を整備充実する
- 3) 農業統計担当職員の研修の実施
 - a. CAD職員の人材養成
 - b. 中央での研修講師（食用作物総局、水産総局、州Kanwil）育成
 - c. モデル地区の州、県DINAS職員育成研修
 - d. モデル地区の統計担当者（Mantritani、Mantri Ikan）育成研修
- 4) 統計資料の整理、収集及び農業データ関連参考資料の蓄積

3-4-5 プロジェクト研修計画の対象グループ

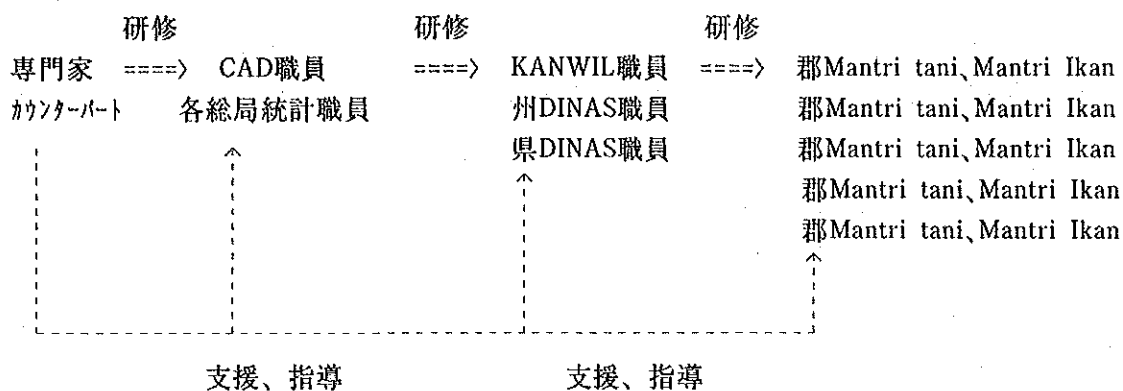
本プロジェクトの研修は、中央ではCAD職員、関連2総局及び州Kanwil、地方では、設定したモデル地区の州及び県、郡の農業統計担当職員に限定する。その具体的な研修対象数は、下記のとおりである。

1. 農業データセンター技術職員 60名
2. 食用作物総局、水産総局の統計課職員 30名
3. モデル地区管轄のKANWIL、モデル地区の州、県のDINAS職員 40名
4. モデル地区の農業、水産統計担当者（Mantritani、Mantri Ikan） 120名

本プロジェクトでは、CAD職員の育成の重要性とともに、モデル地区での農業、水産の統計担当者（Mantritani、Mantri Ikan）に対しての研修を、最も重点な対象の1つとして考えている。つまり、統計データのフロー過程から考えると、現場における最初のデータ収集者であるMantan及びMantri Ikanへの再教育は、統計手法の改善、信頼性の高いデータの提供というプロジェクト目標を達成するための重要かつ不可欠の課題である。

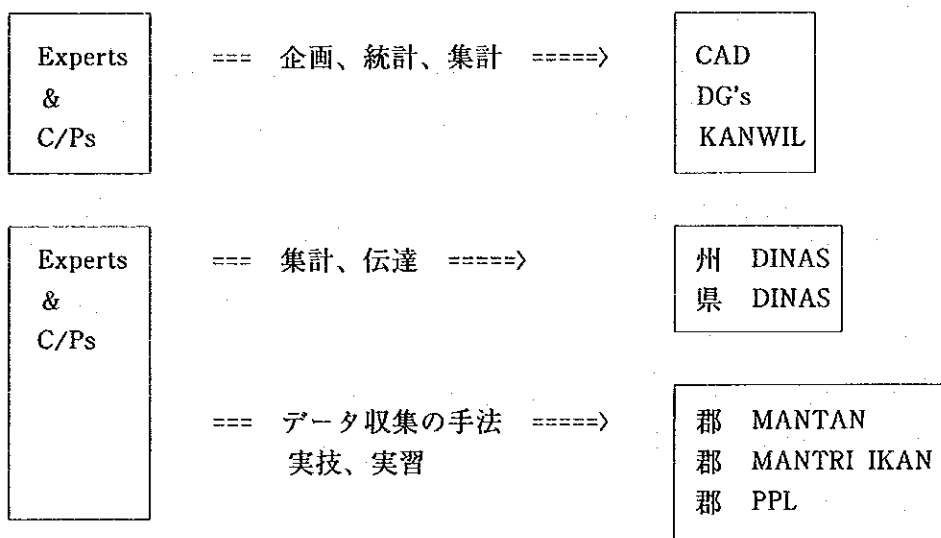
3-4-6 研修のシステムと実施方法

研修の具体的な進め方としては、専門家との日常活動を通じて知識、技術の向上を身に付けたC/Pが中心になって、統計業務を行っているCAD職員や各総局統計職員に向けての研修を実施する。そして、先に研修生であったCAD職員や各総局職員を中心として、今度はKANWILや地方の統計職員への研修を実施するというT.O.T.(Training of trainers) 構想をもって実施することが望ましい。実際には、常に専門家やC/Pの強力な支援と努力が必要とされる。



3-4-7 研修科目内容

プロジェクトにおける研修対象別に見た主要研修課題は、下記に示すとおりである。



研修内容も上述した対象別に、それぞれのレベルに合わせた内容とすることが肝要である。

a. 短期研修 (1-2週間)

(中央での研修が中心になるもの)

- Training curriculum development
- Introduction to the agricultural statistics
- Sampling methodology
- Area survey technology
- Fishery survey technology

- Data communication technology
- Data processing technology
- Data base application development

(地方での研修が中心になるもの)

- Sampling methodology & practice
- Area survey methods & practice
- Fishery survey methods & practice

b. 長期研修 (2 - 3 か月間)

- Food crop statistics expert course
- Fishery statistics expert course
- Date processing expert course

3 - 4 - 8 研修教材の整備、充実

研修教材の充実については、普及訓練庁やCBSとの協力を図りながら、現存の統計研修教材を参考にするとともに、本プロジェクトでは、研修の対象別特徴を十分に考慮し、科目の内容や、そのレベル、教材や実習教本を開発する必要がある。

〈研修用教材、手引書、実習書等の作成〉

- 1) Introduction to agricultural statistics
- 2) Sampling methodology
- 3) Data collection manual (food crops & fishery)
- 4) Area survey methodology (food crops)
- 5) Fishery survey methodology
- 6) Introduction to information processing
- 7) Statistical data processing system
- 8) Statistical data analysis system
- 9) Data base system
- 10) others

〈統計資料の収集・充実〉

- 1) Agricultural census series
- 2) Annual statistics series
 - a) Province level
 - b) Kabupaten level

3-4-9 研修計画実施スケジュール

(プロジェクト内計画) : 初年度 : 次年度 : 3年度 : 4年度 : 最終年度

1. 研修計画、カリキュラムの改善 *****
2. 研修教材の整備、充実 *****
3. 研修の実施
 - a. CAD職員の養成 *****
 - b. 中央での研修講師養成 *****
 - c. モデル地区の州、県DINAS *****
 - d. Mantritani、Mantri Ikan *****

(プロジェクト外への波及) : 初年度 : 次年度 : 3年度 : 4年度 : 最終年度

4. インドネシア側全体研修計画への適応 *****>>
- a. 州、県DINASの人材養成 *****>>
- b. 郡のMantritani、Mantri Ikanの再教育 *****>>

3-4-10 期待される効果

インドネシア側の研修全体計画の遂行を阻害している要因の1つである統計担当職員の人材問題が、本プロジェクト研修において取り除かれ、下部組織の担当職員の人材養成も併せて実行されることが期待される。

研修の骨子としてあげた、CAD職員、関連総局の人材の育成を根本に置き、暫時中央からモデル地区のある州、県、郡へとその研修対象を下部組織へと降ろしながら、各段階別の技術の移転を図る、波及効果のある、研修システムが根づくことが期待される。

従来の研修計画（インドネシア側独自の研修）との関連からみると、こうした研修システムが、末端現場であるモデル地区の統計職員資質の向上、統計業務の質的改善に効果的役割を担うようになれば、今後は、モデル地区以外の周辺県（KABUPATEN）への応用を手始めに、逐次、研修対象地区を拡大し、西ジャワ州のその他の18県へ、また、その他の州へと発展的に研修システムを拡大して、インドネシア側の全国統計担当者養成計画を実現していくことが期待できる。

〈直接効果〉

- CAD職員、各総局農業統計職員の統計技術者としての育成
- 現地職員への統計指導能力の向上
- 効果的な研修システムの移転
- 現地統計職員の統計業務活動への理解度向上

〈波及効果〉

- モデル地区内で実施された統計業務の現地調査、データ収集等、統計調査改善方法の周辺県への普及
- 中央から末端機関である郡レベルまでの、一貫した統計研修システムの重要性が認識され、研修全体計画へ、このシステムが応用される
- CADや各総局で育成された職員が研修全体計画を継続発展させる

3-5 その他

(1) 供与機材の調達

1) コンピュータ関連機器

コンピュータ関連機器の調達に関する現地調査を行った結果、インドネシア国におけるコンピュータの現状は、その販売面においては多種多様のメーカーがあり、購入そのものについては問題ないが、その内容、特にコンピュータの性能等に関するユーザー側の要求スペックに対しては、インドネシア国メーカー(外国メーカーの代理店を含む)では完全に達成できる状況となっていない。

具体的には、主記憶装置(メモリー)について言えば、インドネシア国では1MBユニットが主体であり、数MBに及ぶメモリー実装に対しては、単一ユニットでの実現でなく、1MBユニットの複数個実装により実現している。さらに、そのユニットの信頼性も著しく低く、納入時点で稼働しないメモリーも数多くあり、納入時の仕様確認(コンピュータ内部の部品検査)は不可欠の条件となっている。

また、機器そのものの信頼性についても著しく低く、調達機器の40~50%に不良箇所が出現することも頻繁に起きている。

次に、インドネシア国におけるメーカーサポート体制をみると、外資系メーカーは直接行うことができず、インドネシア国の代理店を通じて実施しているため、プロジェクトにおける調達機器のメンテナンス等は、この代理店と契約し実施することとなる。

その状況については、保守契約を結んだ代理店であってもサポート体制は貧弱なものがあり、迅速な対応(修理等)は皆無と言っても過言ではない。

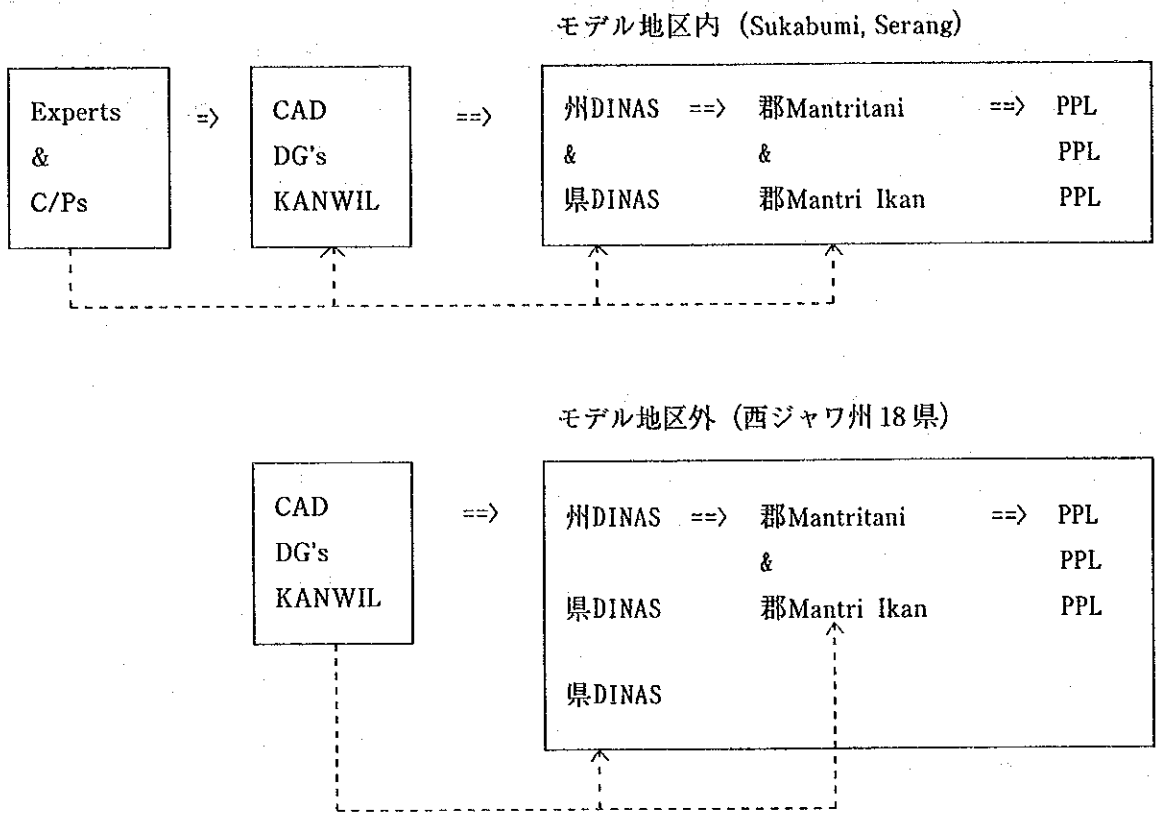
以上のことから、コンピュータ及び関連機器の調達に当たっては、導入後の保守の困難さ及びプロジェクトにおける負担の軽減(機器の故障対応等)を考慮し、製品に信頼のおける日本での購入(外資系メーカーを含む)が最も望ましいと判断される。

また、保守契約については、部品の調達や修理等が発生した場合を想定し、インドネシア国において信頼できる代理店との契約を結んでおくことが不可欠と考える。

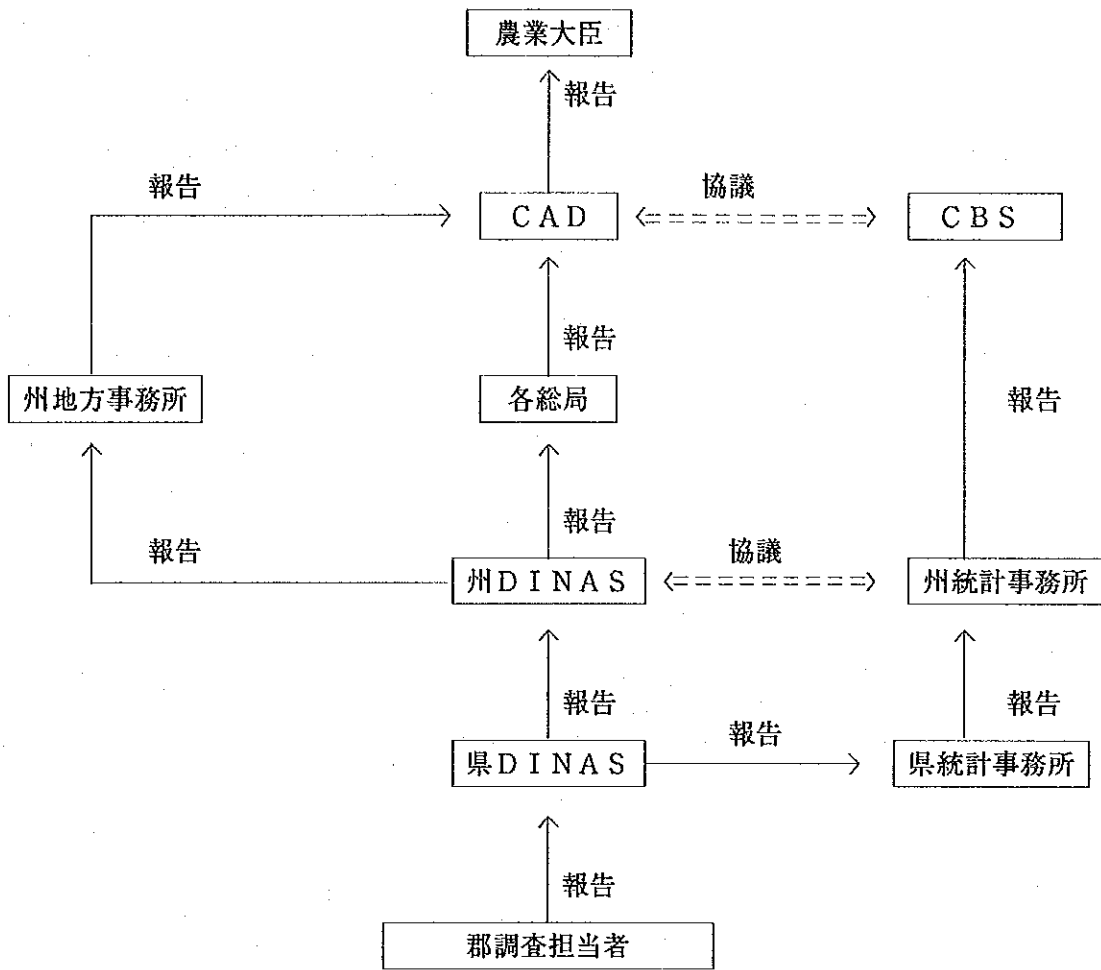
2) プロジェクト車両及び事務機器

プロジェクト車両及び事務機器類については、プロジェクト開始早々から必要なこと、さらには、その管理やメンテナンス等がインドネシア国において容易に実現できること、また、調達に当たって、インドネシア国においても、その数及び種類が豊富にあり、選択の幅が広いこと等を考慮すれば、現地で調達することが望ましいと判断される。

研修システムと期待される波及効果



統計調査結果データのフローチャート（米の収穫面積調査の例）



4. ま と め

(1) 統計改善（モデル地区の活動）

本プロジェクトは、その活動内容に規定されている食用作物統計、水産統計に関する企画・標本調査及び統計分析の方法の導入・改善を行うことであり、また、そのためには新たな改善手法を、現場であるモデル地区で実践することである。

このことは、モデル地区で実施を担当している、農業・水産統計担当者（Mantritani、Mantri Ikan）、さらにはPPLまでに、このプロジェクトに対する理解と協力を得なければ、改善手法に基づく正確な調査は行われぬ。

このことから、本プロジェクトにおいては統計調査の入口でもあるモデル地区、特に県（Kabupaten）における活動の成否が重要な課題となる。

(2) 統計利用技術（CAD）

CADの本来の任務である統計データの利用、分析等の高度化、一元化や、各総局で実施している農業統計調査の重複を排除するための調整機能等、現在のCADにおいて課題となっている事項は山積している。

このような課題に応えるため、本プロジェクトにおいては、集計技術の導入・改善、データ利用方法の改善及びデータベース技術の導入等の活動により、統計データの加工・分析手法及び発表・提供技術の高度化を実現することを目標に、実施することが重要である。

その結果、CADの機能の充実強化及び地位向上が達成されることとなる。

(3) 研修計画（州、県Dinas、CAD）

上記の活動を実現するためには、以下が必要である。

- ① 将来、農業統計部門での指導的役割を果たし、州や県、郡レベルの職員を指導・育成していけるよう、CAD及び関係総局の人材を育成しなければならない
- ② また、モデル地区におけるプロジェクトの活動をより効果的に実施するためには、モデル地区を監督する州や県Dinasの統計担当職員の育成をしなければならない
- ③ さらに、調査現場である郡レベルのMantritani、Mantri Ikanの訓練・育成をしなければならない

このように、本プロジェクトではCAD職員の育成の重要性とともに、モデル地区での農業・水産の統計担当者（Mantritani、Mantri Ikan）に対しての研修が重要な活動と位置付けられる。

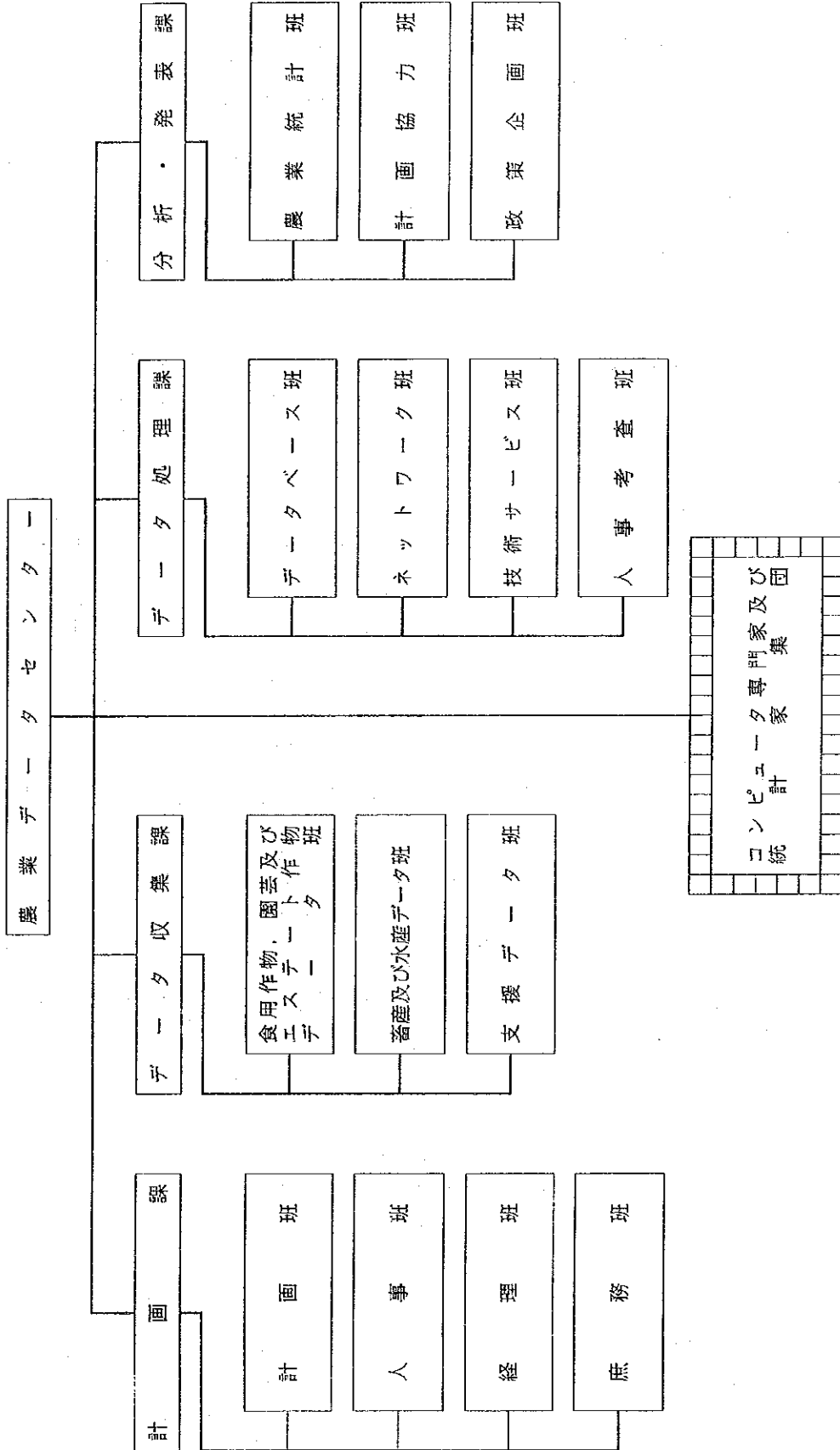
なぜならば、統計調査の現場における実践者である、Mantritani、Mantri Ikanへの教育が、統計手法の改善、正確なデータの提供というプロジェクト目標を達成するための、重要かつ不可欠の課題となるからである。

附 属 資 料

1. CAD組織図
2. インドネシア側カウンターパート職員
3. CADからCBSへ宛てた協力要請文書
4. CBSの将来構想
5. 統計調査機構
6. CADの見取り図
7. モデル地区の概要
8. コンピュータのハードウェア構想(案)
9. ネットワークの将来構想(CAD)
10. データベースシステムのハードウェア構成
11. データベース収録データ一覧表
12. 月例報告に利用した統計一覧
13. 議事録・暫定実施計画(英文)
14. 議事録・暫定実施計画(和文仮訳)

附屬資料1.

C A D 組 織 図



附属資料 2.

インドネシア側カウンターパート職員

番号	氏 名	所 属	専門分野
1	Dr. Togar Alam Napitupulu	農業データセンター	集計技術
2	Ir. Andi Arnida M.	農業データセンター	集計技術
3	Ir. Tassim Billah, MSc.	農業データセンター	集計技術
4	Drs. M. Burhan Amin	農業データセンター	集計技術
5	Dr. Tjuk Eko Hari Basuki, MSt.	農業データセンター	食用作物統計
6	Sutarno, Bst.	食用作物総局	食用作物統計
7	Ir. Gatut Sumbogodjati	食用作物総局	食用作物統計
8	Ir. Kusnandar	食用作物総局	食用作物統計
9	Ir. Firna Varina	農業データセンター	食用作物統計
10	Ir. Wieta Barkah	農業データセンター	食用作物統計
11	Ir. Sihar Siregar	水産総局	水産統計
12	Ir. Endang Retnowati	水産総局	水産統計
13	Ir. Alfida Ahda	水産総局	水産統計
14	Ir. Yasid Taufik	農業データセンター	水産統計
15	Ir. Bdy Ashariyono	農業データセンター	水産統計
16	Ir. Iwan F. Malonda, MSc.	農業データセンター	水産統計
17	Ir. Susana, MSc.	農業データセンター	研修計画
18	Drs. Suroto Adi, MSc.	農業データセンター	研修計画

附属資料3. CADからCBSへ宛てた協力要請文書

SECRETARIATE GENERAL
OF THE MINISTRY OF AGRICULTURE

Director of Centre Bureau of Statistics
Jl. Dr. Sutomo No 8
Jakarta

Currently, MOA through CAD is developing Agriculture Statistics within MOA whose objectives are to get an accurate, consistent and timely data. Some efforts which will be carried out are by developing methodology and human resource development. In relation with the above, JICA has sent Preliminary Study Team to study in detail CAD's proposal in developing and improving Agriculture Statistics. The discussions resulted an agreement on what activities which will be carried out. These activities are as follows :

1. Developing sampling methodology, planning & analyzing of area harvested for paddy & secondary crops
2. Developing sampling methodology, planning & analyzing of fisheries production.
3. Model areas are agreed to be in West Java.
4. Training activities on Statistical staffs within MOA.

Detail activity is attached

In relation with the above, we wish the support from CBS in order that MOA could take any necessary step on developing and improving Statistics within MOA.

Thank you for your attention and cooperation .

Secretary General of MOA.

Signed

DR. Soetatwo Hadiwigeno
NIP. 130.154.829

cc :

1. Honorable Minister of Agriculture
(as a report)
2. Director of CAD

wb\c:\data\kabos2.wc

DEPARTEMEN PERTANIAN
SEKRETARIAT JENDERAL

Jl. Harsono P.M. No. 1
Pasirpanggen
Jakarta 12550
Korok Pasirpanggen

Telp. : 782131 - 7804119
7804226 - 780451
Telex : 44216 - 44332
Faks : 780244

Nomor : RC.220/1637/D/IX/1993
Lampiran :
Perihal : Pengembangan Perstatistikan
Pertanian di Departemen
Pertanian

13 September 1993

Kepada Yth

Sdr. Kepala Biro Pusat Statistik
Jl. Dr. Sutomo No. 8
di
Jakarta

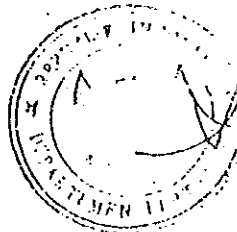
Dengan Hormat,

Pada saat ini, Departemen Pertanian melalui Pusat Data Pertanian, sedang memembangan perstatistikan pertanian di lingkup Departemen Pertanian untuk dapat menghasilkan data statistik yang akurat, konsisten dan tepat waktu. Salah satu usaha yang akan dilakukan adalah mengembangkan metoda dan tenaga pengelola statistik. Sehubungan dengan hal tersebut di atas, JICA telah mengirimkan Tim Preliminary Study yang membahas lebih rinci usulan Pusat Data Pertanian dalam pengembangan dan perbaikan perstatistikan. Diskusi-diskusi yang dilakukan menghasilkan kesepakatan mengenai penyempurnaan kegiatan-kegiatan yang akan dilaksanakan, yaitu antara lain adalah :

1. Kegiatan pengembangan metoda penarikan sampel, perencanaan dan analisa mengenai luas panen tanaman padi dan palawija;
2. Kegiatan pengembangan metoda penarikan sampel, perencanaan dan analisa mengenai komoditi perikanan;
3. Model area ditetapkan di desa Kabupaten pada Propinsi Jawa Barat;
4. Kegiatan training tenaga perstatistikan di lingkup Departemen Pertanian. Kegiatan secara rinci terlampir.

Sehubungan dengan hal tersebut di atas, kami mohon dukungan dari Biro Pusat Statistik sehingga Departemen Pertanian dapat mengambil langkah-langkah untuk pengembangan dan perbaikan statistik di lingkungan Departemen Pertanian.

Atas perhatian dan kerjasamanya, kami menyampaikan terima kasih.

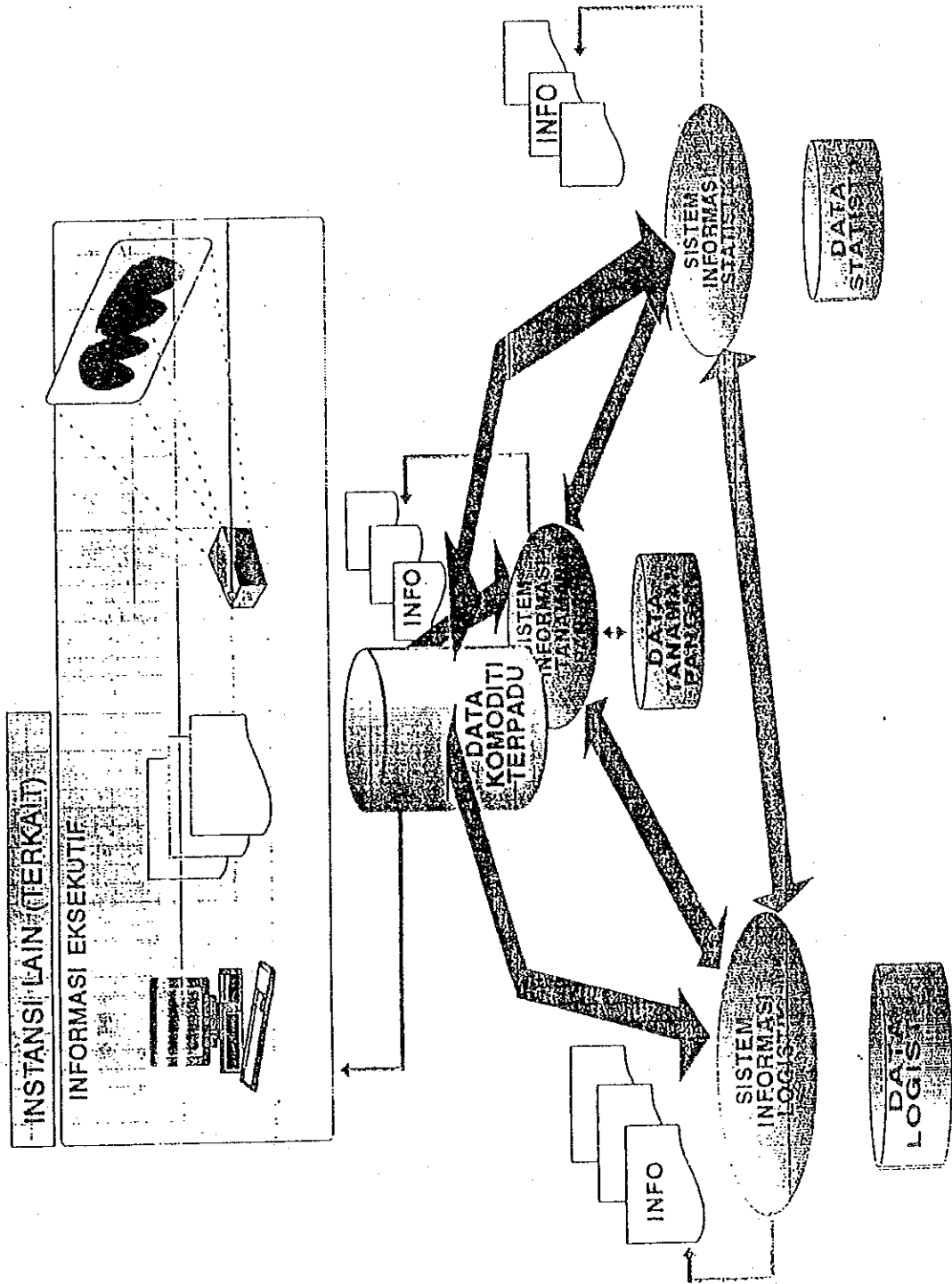


Sekretaris Jenderal
Departemen Pertanian,

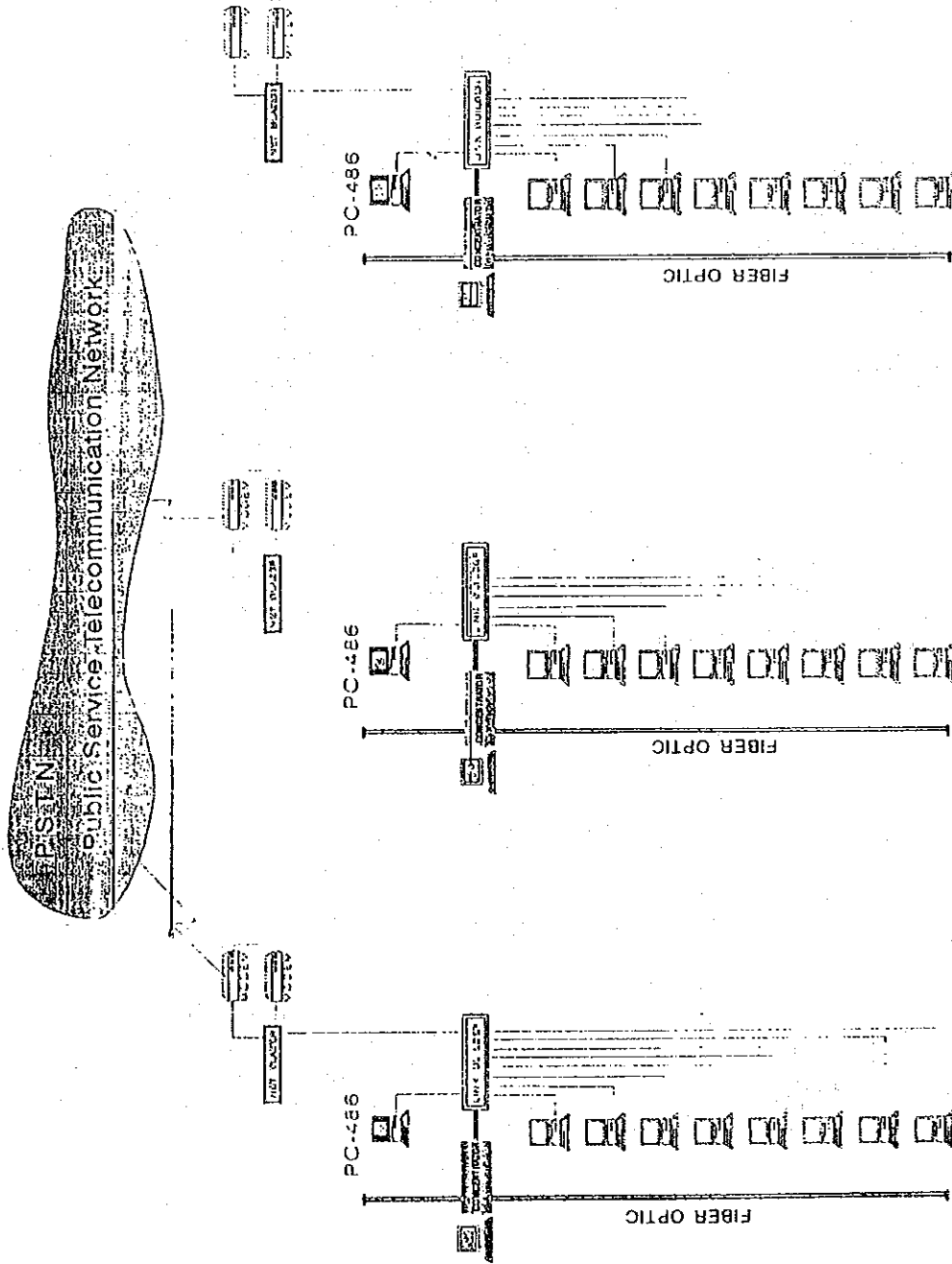
DR. Soetawo Hudiwigono
NIP. 130.154829

- Cembusan disampaikan kepada Yth.
1. Bapak Menteri Pertanian
(sebagai laporan)
 2. Kepala Pusat Data Pertanian

附属資料 4. CBSの将来構想



RANGANGAN JARINGAN 'ONLINE'
SISTEM INFORMASI JARINGAN KOMODITI



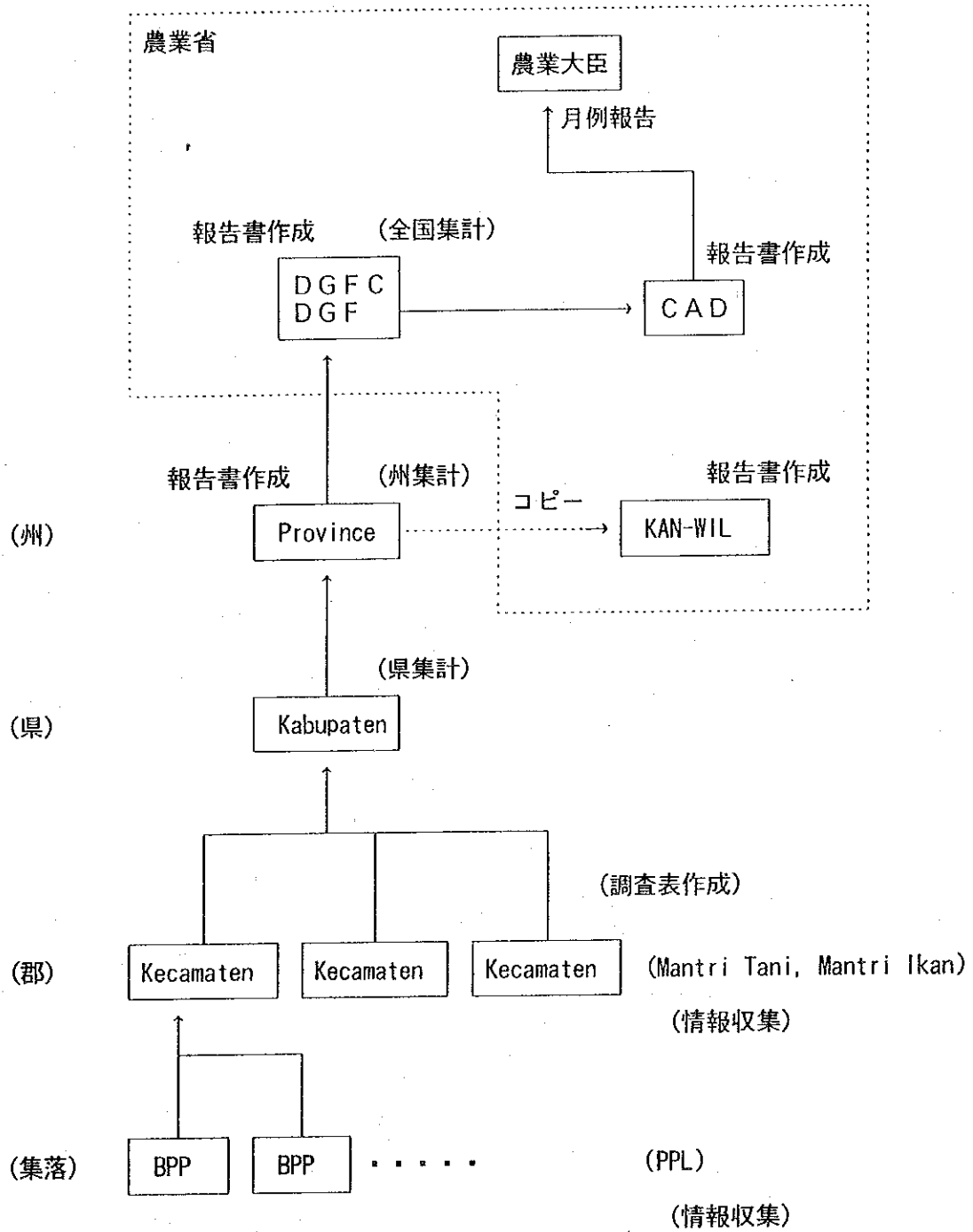
DEPTAN

BPS

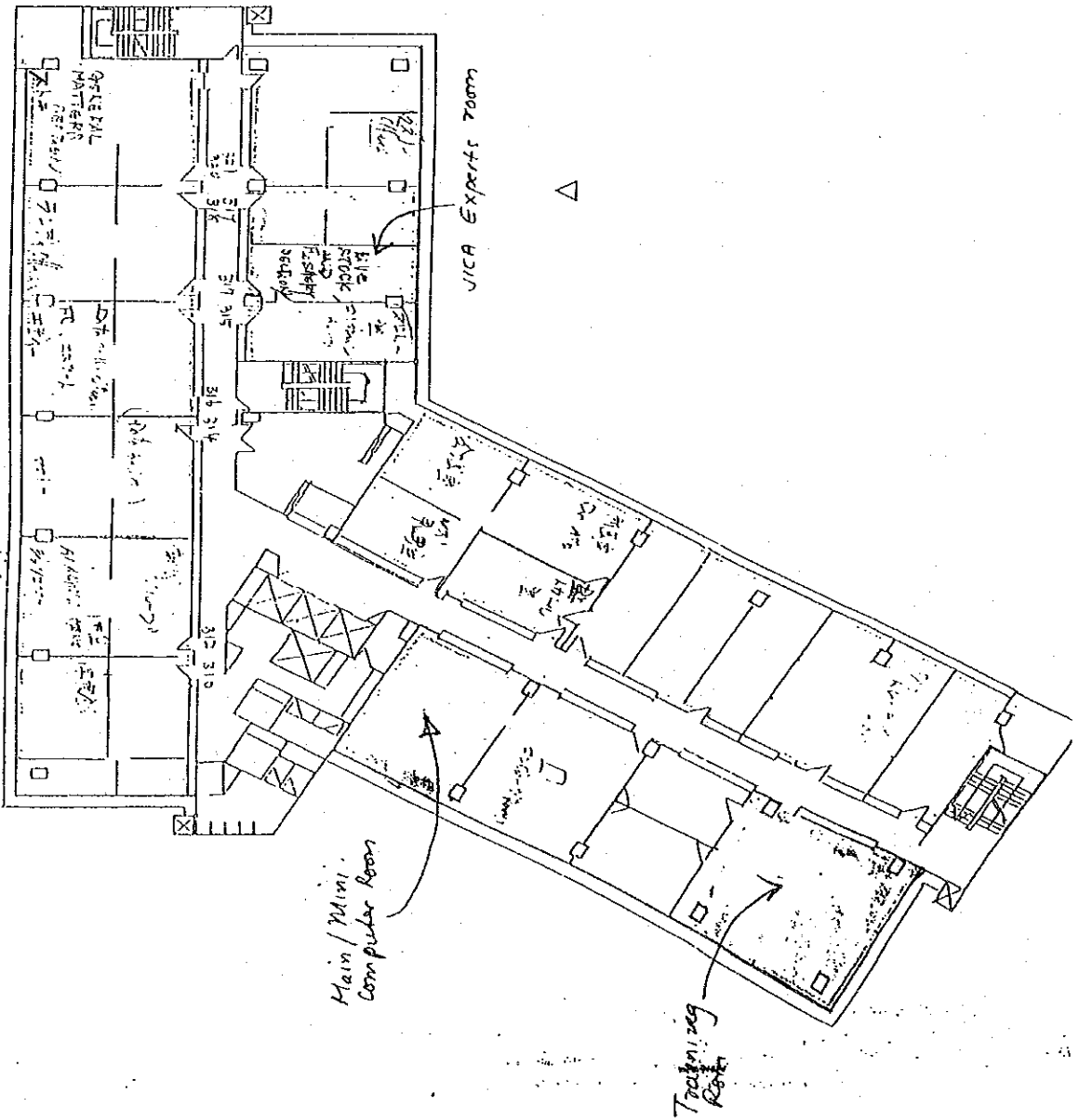
BULOG

附屬資料 5. 統計調査機構

☆ 統計調査機構



附属資料 6. CADの見取図



KETERANGAN

GEDUNG 3

LANTAI III

PUSATKIN BADAN
 LITBANG PERTANIAN : 1170

FASILITAS UMUM
 (SELASAR, LIFT, RUA
 MESIN, POLEK, PANE,
 GUDANG, TANGGA). : 360

DEPARTEMEN PERTANIAN
 JL. HARSONO RM NO.3
 PASAR MINGGU JAKSEL.

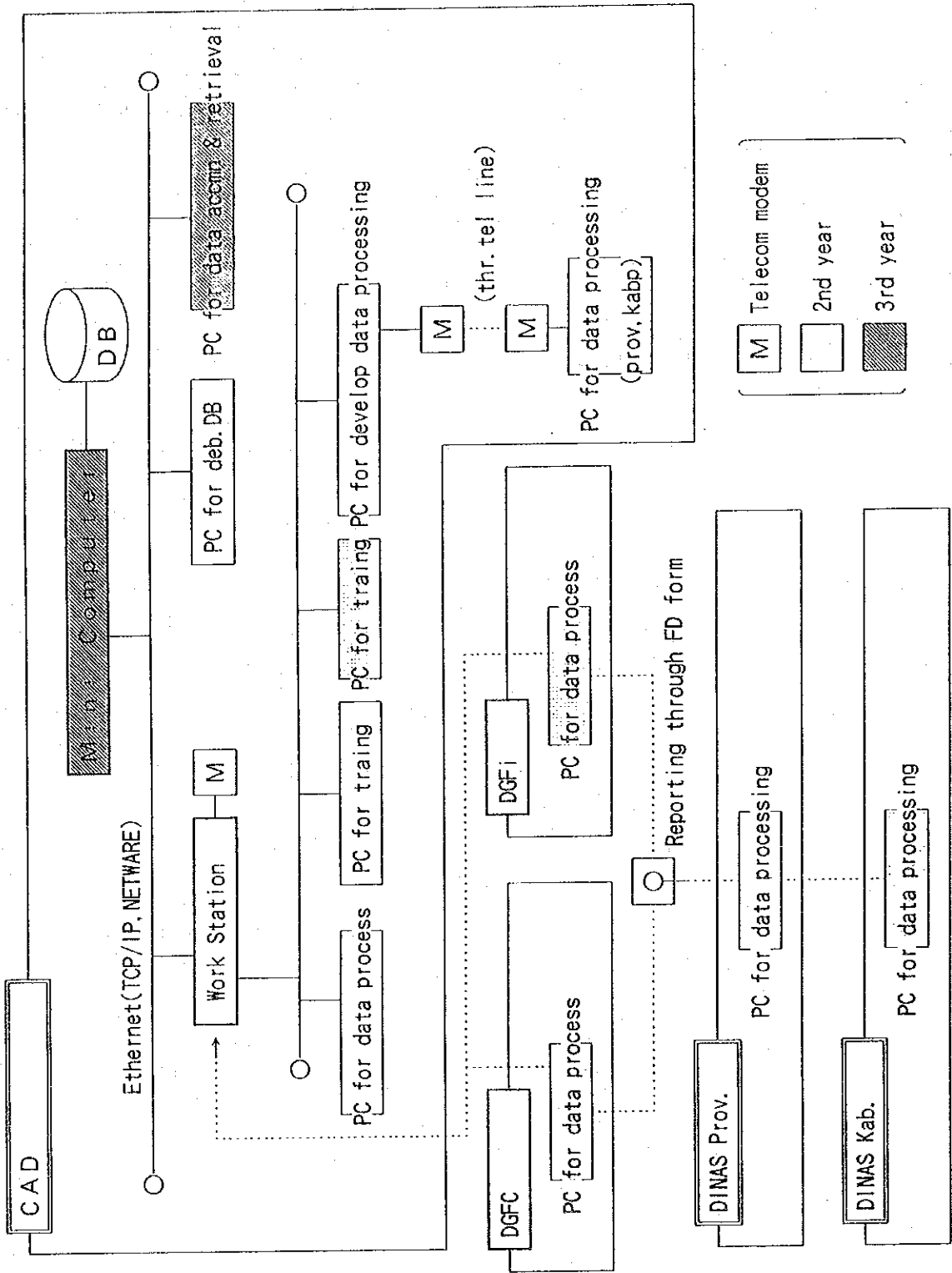
付属資料7. モデル地区の概要

[スカブミ、セランの概況]

項 目	スカブミ	セラ ン	西ジャワ州	西ジャワ州平均	
郡 の 数	3 1	2 7	4 6 8	—	
集 落 の 数	3 7 1	4 1 2	7 1 0 1	—	
人 口	196万8千人	147万1千人	3538万4千人	176万人	
所 帯 数	48万9千所帯	30万2千所帯	818万所帯	40万所帯	
水田面積	12万3千畝	9万1千畝	213万3千畝	10万畝	
米生産量	57万3千ト	43万9千ト	1041万5千ト	52万ト	
二 次 作 物 生 産 量	メイズ	2万ト	9千ト	29万1千ト	1万5千ト
	キャッサバ	12万8千ト	6万6千ト	206万8千ト	10万3千ト
	スイート ポテト	2万9千ト	4万ト	47万2千ト	2万4千ト
	ソイビーン	3千ト	0.4ト	9万6千ト	4千ト
	ピーナッツ	1万3千ト	1万8千ト	12万2千ト	6千ト
漁業生産量	1万6千ト	1万8千ト	30万ト	1万5千ト	
Mantritani (MANTAN)	3 1名	3 0名	—	—	
Mantri Ikan	1 6名	1 1名	—	—	

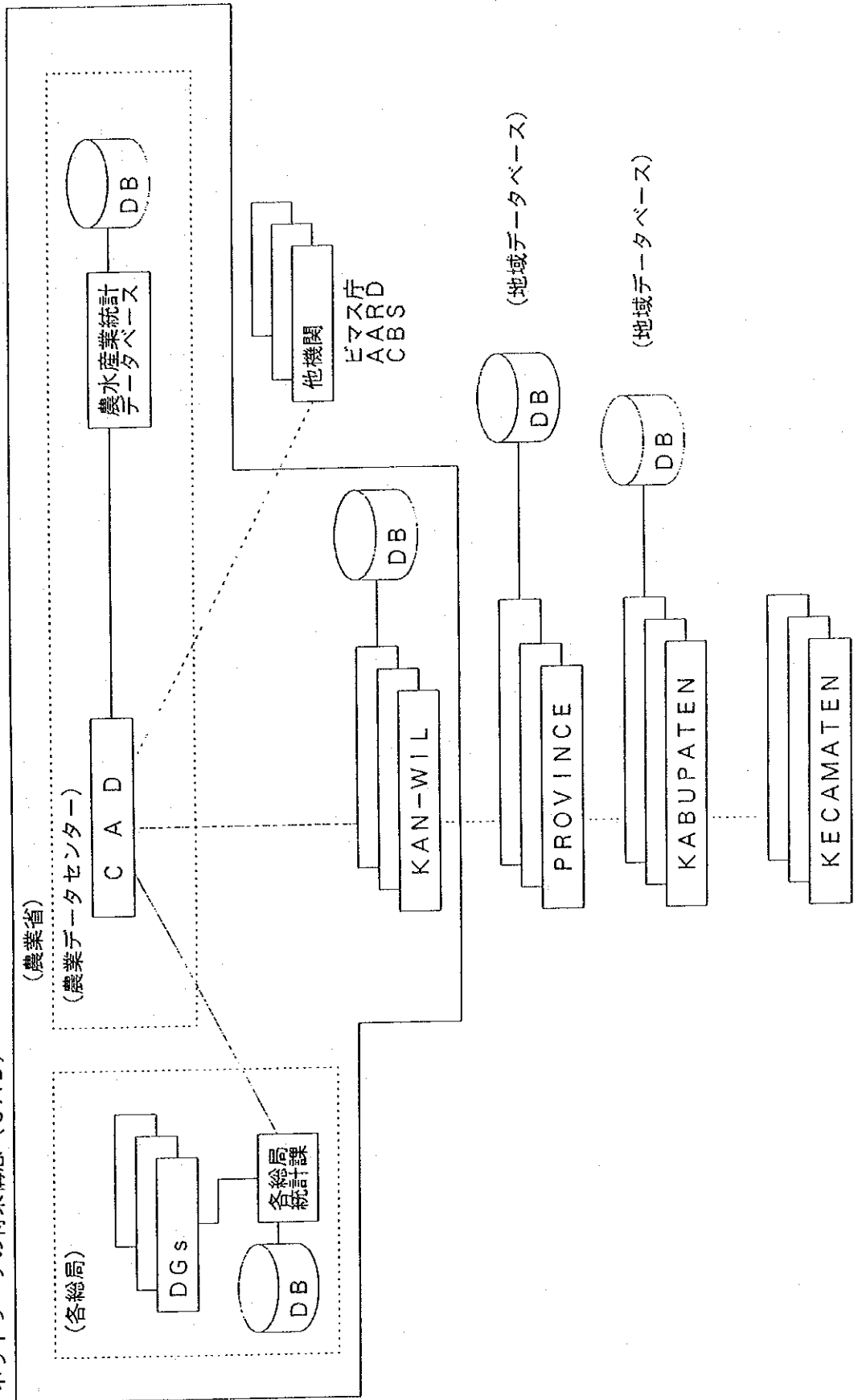
附属資料 8. コンピュータのハードウェア構想 (案)

Composition of Hard ware (Draft)

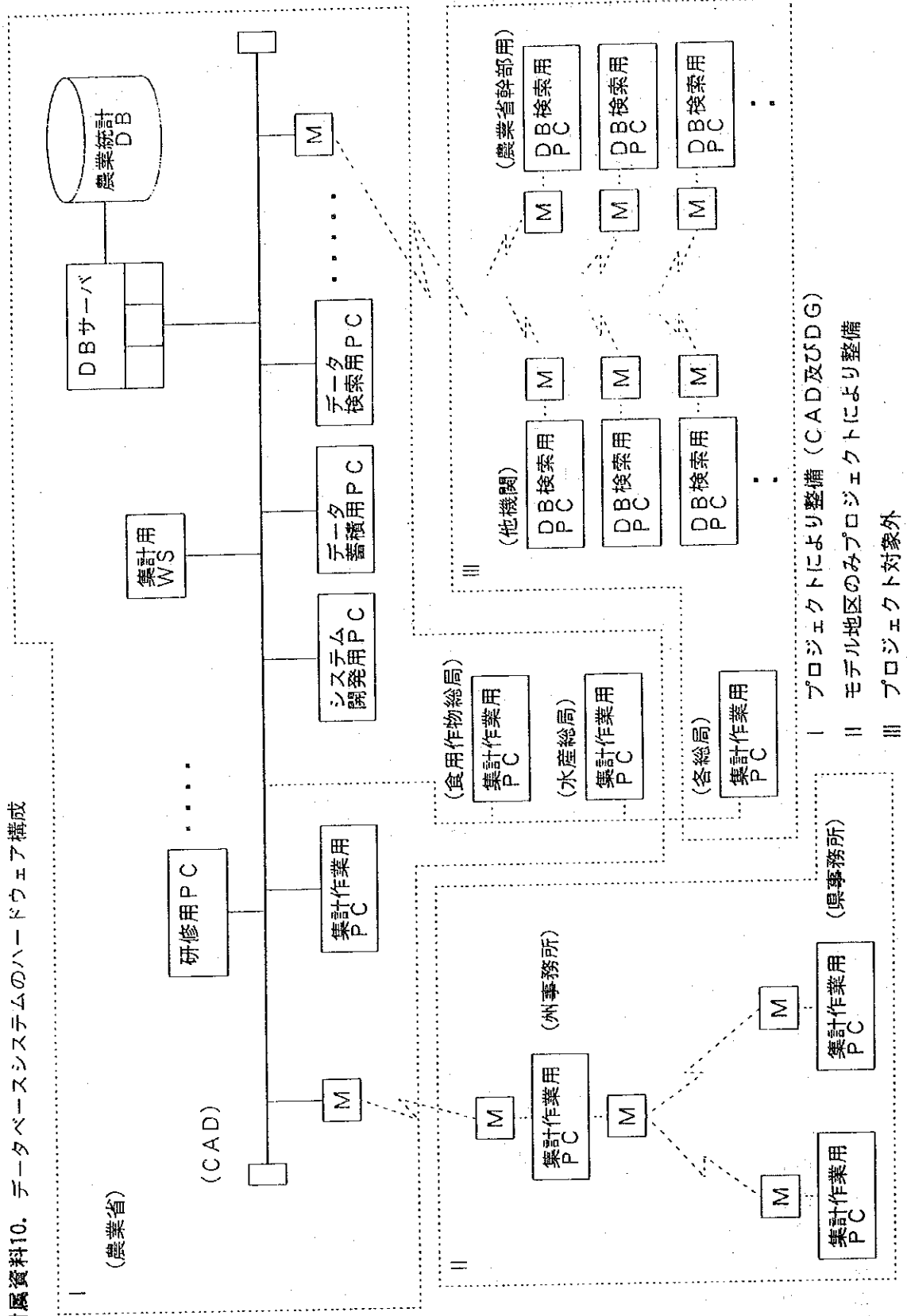


附属資料 9.

ネットワークの将来構想 (CAD)



附属資料10. データベースシステムのハードウェア構成



附属資料11. データベース収録データ一覧表

DATA YANG SAAT INI SUDAH TERSEDIA DI RSDS
CAKUPAN : PROPINSI

NO	INDIKATOR	KOMODITI	SUMBER	SERIES	UP-DATING
1	PRODUKSI/HA	UBI KAYU	BPS	68-90	60-67,91
2		GROUNDNUT	BPS	68-90	60-67,91
3		KAC. HIAU	MOA	70-90	60-69,91
4		JAGUNG	BPS	68-89	60-67,90-91
5		JAGUNG	MOA	68-90	60-67,91
6		KENTANG	BPS	78-87	60-77,88-91
7		KENTANG	MOA	68-88	60-67,89-91
8		UBI JALAR	BPS	68-90	60-67,91
9		KEDELE (SOYBEANS)	BPS	68-90	60-67,91

DRSDS.WK1/081092 IK

DATA YANG SAAT INI SUDAH TERSEDIA DI RSDS
CAKUPAN : PROPINSI

NO	INDIKATOR	KOMODITI	SUMBER	SERIES	UP-DATING
1	LUAS PANEN	PADI (RICE)	BPS	68-89	60-67,90-91
2		PADI (RICE)	MOA	68-90	60-67,91
3		PADI SAWAH (WET)	BPS	68-90	60-67,91
4		PADI SAWAH (WET)	MOA	68-89	60-67,90-91
5		PADI LADANG (DRY)	BPS	68-90	60-67,91
6		PADI LADANG (DRY)	MOA	68-90	60-67,91
7		UBI KAYU (CASSAVA)	BPS	68-90	60-67,91
8		UBI JALAR	BPS	68-90	60-67,91
9		GROUNDNUT	BPS	68-90	60-67,91
10		JAGUNG (MAIZE)	BPS	68-90	60-67,91
11		JAGUNG (MAIZE)	MOA	68-90	60-67,91
12		KENTANG (POTATOES)	BPS	78-87	60-77,88-91
13		KENTANG (POTATOES)	MOA	68-88	60-67,89-91
14		KEDELE	BPS	68-90	60-67,91
15		KEDELE	MOA	68-90	60-67,91

DATA YANG SAAT INI SUDAH TERSEDIA DI RSDS

CAKUPAN : PROPINSI

NO	INDIKATOR	K O M O D I T I	SUMBER	SERIES	UP-DATING
1	TOTAL PRODUKSI	PADI SAWAH (WET)	DITTAN	87-91	60-86
2		PADI LADANG (DRY)	DITTAN	87-91	60-86
3		TERUNG (EGG PLANT)	DITTAN	87-91	60-86
4		GROUNDNUT	BPS	68-90	60-67,91
5		KAC. HIAU	DITTAN	87-91	60-86
6		KAC.HIAU	MOA	70-90	60-69,91
7		JAGUNG	DITTAN	87-91	60-86
8		JAGUNG	BPS	68-89	60-67,90-91
9		JAGUNG	MOA	68-90	60-67,91
10		UBI KAYU	DITTAN	87-91	60-86
11		UBI KAYU	BPS	68-90	60-67,91
12		UBI JALAR	DITTAN	87-91	60-86
13		UBI JALAR	BPS	68-90	60-67,91
14		WORTEL	DITTAN	87-91	60-86
15		PISANG	DITTAN	87-91	60-86
16		CABAI	DITTAN	87-91	60-86
17		KEDELE	DITTAN	87-91	60-86
18		KEDELE	BPS	68-90	60-67,91
19		TOMAT	DITTAN	87-91	60-86
20		BAWANG DAUN	DITTAN	87-91	60-86
21		KAC. TANAH	DITTAN	87-91	60-86
22		KENTANG	BPS	78-87	60-77,88-91
23		KENTANG	MOA	68-88	60-67,89-91
24		BAYAM	DITTAN	87-91	60-86
25		PEPAYA	DITTAN	87-91	60-86
26		RAMBUTAN	DITTAN	87-91	60-86
27		SAWO	DITTAN	87-91	60-86
28		SALAK	DITTAN	87-91	60-86

附属資料12. 月例報告に利用した統計一覧 (1993年 8月)

DAFTAR LAMPIRAN
ADDITION of TABLE

		Halaman Page
Lampiran 1.1 Addition	Perbandingan Luas Tanam Padi dan Palawija MT 1993, MT 1992 dan MT 1991 Bulan April - Juli <i>Comparison of Planted Area of Paddy and Secondary Food Crops, Planting Season 1993, 1992</i>	L-1
Lampiran 1.2 Addition	Perbandingan Luas Panen Padi dan Palawija Tahun 1993, 1992 dan 1991 Periode Januari - Juli <i>Comparison of Harvested Areas of Paddy and Secondary Food Crops, Planting Season 1993, 1992, 1991, April - July</i>	L-2
Lampiran 1.3 Addition	Perbandingan Luas Panen dan Produksi Bawang Putih, Bawang Merah, Cabe, Kacang Merah dan Kacang Panjang Tahun 1993 dan 1992 Periode Januari - Juni <i>Comparison of Harvested Areas and Production of Garlic, Shallotes, Chili, Red Bean and Yard Long Bean, 1993, 1992, January - July</i>	L-3
Lampiran 1.4 Addition	Pekembangan Harga Gabah Rata-rata di Tingkat KUD di Indonesia Periode Bulan Pebruari - Juli 1993 <i>Average Price of Rough Rice in Village Coperatives Unit (KUD) in Indonesia, February - July 1993</i>	L-4
Lampiran 1.5 Addition	Perkembangan Harga Borongan Rata-rata Palawija di Beberapa Kota Besar di Indonesia Bulan Juli 1993, Dibandingkan Dengan Bulan Sebelumnya <i>Average Price of Secondary Food Crops in Selected Capitals, July 1993</i>	L-5
Lampiran 1.6 Addition	Perkembangan Harga Borongan Rata-rata Sayur Mayur Beberapa Kota Besar di Indonesia Bulan Juli 1993 Dibandingkan Dengan Bulan Sebelumnya (Rp/Kg) <i>Average Price of Vegetables in Selected Capitals in Indonesia July 1993</i>	L-6

Lampiran 1.7 Addition	Pengadaan Gabah/Beras 30 Juni dan 4 Agustus 1993 <i>Procurement of Rough Rice/Rice, as of 30 June and 4 August 1993</i>	L-7
Lampiran 1.8 Addition	Pengadaan Gabah/Beras Periode Januari - 4 Agustus Tahun 1992 dan 1993 <i>Procurement of Rough Rice/Rice, as of January - 4 August, 1992 and 1993</i>	L-8
Lampiran 1.9 Addition	Rekapitulasi Perkembangan Ekspor Komoditi Tanaman Pangan dan Olahannya Tahun 1993 <i>Export of Food Crops Comodities and Processed Product, 1993</i>	L-9
Lampiran 1.10 Addition	Rekapitulasi Perkembangan Impor Komoditi Tanaman Pangan dan Olahannya Tahun 1993 <i>Import of Food Crops Comodities and Processed Product, 1993</i>	L-10
Lampiran 1.11 Addition	Neraca Perdagangan Komoditi Tanaman Pangan dan Olahannya Tahun 1993 <i>International Trade Balance of Food Crops Comodities and Processed Product, 1993</i>	L-11
Lampiran 2.1 Addition	Hasil Giling Pabrik Gula s.d 31 Juli 1993 <i>Product of Sugar Factory, as of 31 July 1993</i>	L-12
Lampiran 2.2 Addition	Pemasukan Areal MTT 1993/1994 s.d 31 Juli 1993 <i>Areas of Sugar Case Addition, PS 1993/94, as of 31 July 1993</i>	L-13
Lampiran 2.3 Addition	Harga Komoditi Perkebunan Dalam Negeri Periode Pebruari - Juli 1993 <i>Domestic Price of Estate Crops Commodities, February - July 1993</i>	L-14
Lampiran 2.4 Addition	Perkembangan Harga Gula Dalam Negeri 1993 <i>Sugar Domestic Price, 1993</i>	L-15
Lampiran 2.5 Addition	Perkembangan Harga Gula Rata-rata di Bursa London, New York dan ISA Bulan Juni -Juli 1993 <i>Average of Price of Sugar in London New York and ISA Commodity Market, June - July 1993</i>	L-16
Lampiran 2.6 Addition	Volume dan Nilai Ekspor Perkebunan Primer, 1993 <i>Volume and Value of Export of Primary Estate Crops, 1993</i>	L-17

Lampiran 2.7 Addition	Volume dan Nilai Ekspor Perkebunan Manufacture, 1993 <i>Volume and Value of Export of Manufactured Estate Crops Commodities, 1993</i>	L-18
Lampiran 2.8 Addition	Volume dan Nilai Impor Perkebunan Primer, 1993 <i>Volume and Value of Import of Primary Estate Crops Commodities, 1993</i>	L-19
Lampiran 2.9 Addition	Volume dan Nilai Impor Perkebunan Manufacture, 1993 <i>Volume and Value of Import of Manufactured Estate Crops Commodities, 1993</i>	L-20
Lampiran 2.10 Addition	Neraca Perdagangan Komoditi Perkebunan Periode Januari - April 1993 <i>International Trade Balance of Estate Crops Commodities, January - April 1993</i>	L-21
Lampiran 3.1 Addition	Harga Udang Putih Menurut Propinsi Bulan Juni - Juli 1993 <i>Price of White Shrimp by Province, June - July 1993</i>	L-22
Lampiran 3.2 Addition	Harga Tuna Menurut Pelabuhan Perikanan, Juni - Juli 1993 <i>Price of Tunas by Fishery Port, June - July 1993</i>	L-23
Lampiran 3.3 Addition	Harga Cakalang Menurut Pelabuhan Perikanan, Juni - Juli 1993 <i>Price of Skipjack by Fishery Port, June - July 1993</i>	L-24
Lampiran 3.4 Addition	Harga Tongkol Menurut Pelabuhan Perikanan, Juni - Juli 1993 <i>Price of Skipjack sp. by Fishery Port, June - July 1993</i>	L-25
Lampiran 3.5 Addition	Volume Ekspor hasil Perikanan Menurut Komoditi Utama, Periode Januari - April 1993 <i>Volume of Export of Major Fishery Commodities, January - April 1993</i>	L-26
Lampiran 3.6 Addition	Nilai Ekspor Hasil Perikanan Menurut Komoditi Utama, Periode Januari - April 1993 <i>Value of Export of Major Fishery Products, January - April 1993</i>	L-27

Lampiran 3.7 Addition	Harga Rata-rata Ekspor Hasil Perikanan Menurut Komoditi Utama Periode Januari - April 1993 <i>Average Export Price of Major Fishery Products, January - April 1993</i>	L-28
Lampiran 3.8 Addition	Ekspor Udang Tidak Beku Menurut Negara Tujuan Ekspor Periode Januari - April 1993 <i>Export of Fresh Shrimp by Country of Destination, January - April 1993</i>	L-29
Lampiran 3.8a Addition	Ekspor Udang Beku Menurut Negara Tujuan Ekspor Periode Januari - Juni 1993 <i>Export of Frozen Shrimp by Country of Destination, January - April 1993</i>	L-30
Lampiran 3.8b Addition	Ekspor Udang Dalam Kaleng Menurut Negara Tujuan Ekspor Periode Januari - Juni 1993 <i>Export of Shrimp Canning by Country of Destination, January- April 1993</i>	L-31
Lampiran 3.8c Addition	Harga Ekspor Udang Menurut Jenis Olahan dan Negara Tujuan Ekspor Periode Januari - April 1993 <i>Export Price of Processed Shrimp Products by Country of Destination, January - April 1993</i>	L-32
Lampiran 3.9 Addition	Ekspor Tuna/Cakalang/Tongkol Segar/ Dingin Menurut Negara Tujuan Periode Januari - April 1993 <i>Export of Fresh Tunas/Skipjack/Skipjack sp. by Country of Destination, January - April 1993</i>	L-33
Lampiran 3.9a Addition	Ekspor Tuna/Cakalang/Tongkol Beku Menurut Negara Tujuan Periode Januari - April 1993 <i>Export of Frozen Tunas/Skipack/Skipjack sp. by Country of Destination, January - April 1993</i>	L-34
Lampiran 3.9b Addition	Ekspor Tuna/Cakalang/Tongkol Dalam Kaleng Menurut Negara Tujuan Ekspor Periode Januari - April 1993 <i>Export of Tunas/ Skipjack/ Skipjack sp. Canning by Country of Destination, January - April 1993</i>	L-35

Lampiran 3.9c Addition	Harga Ekspor Tuna/Cakalang/Tongkol Menurut Jenis Olahan dan Negara Tujuan Ekspor Periode, Januari - April 1993 <i>Export Price of Tunas/ Skipjack/ Skipjack sp. by Country of Export Destination, January - April 1993</i>	L-36
Lampiran 3.10 Addition	Impor Hasil Perikanan Menurut Komoditi Utama Periode Januari - Juni 1993 <i>Import of Major Fisheries Products by Commodities, January - June 1993</i>	L-38
Lampiran 3.11 Addition	Neraca Perdagangan Komoditi Hasil Perikanan Bulan Januari - Juni 1993 <i>International Trade Balance of Fisheries Commodities, January - June 1993</i>	L-39
Lampiran 4.1 Addition	Perkembangan Harga Ternak, Hasil Ternak dan Pakan Unggas Periode Juli - Oktober 1993 <i>Price of Livestock, Livestock Products and Poultry Nutrition, July - October 1993</i>	L-40
Lampiran 4.2 Addition	Perkembangan Volume Ekspor Komoditi Peternakan Tahun 1993 <i>Volume of Export of Livestock Commodities, 1993</i>	L-41
Lampiran 4.3 Addition	Perkembangan Nilai Ekspor Komoditi Peternakan Tahun 1993 <i>Value of Export of Livestock Commodities, 1993</i>	L-42
Lampiran 4.4 Addition	Harga Rata-rata Ekspor Komoditi Peternakan Tahun 1993 <i>Average Export Price of Livestock Commodities, 1993</i>	L-43
Lampiran 4.5 Addition	Perkembangan Volume Impor Komoditi Peternakan Tahun 1993 <i>Volume of Import of Livestock Commodities, 1993</i>	L-44
Lampiran 4.6 Addition	Perkembangan Nilai Impor Komoditi Peternakan Tahun 1993 <i>Value of Import of Livestock Commodities, 1993</i>	L-45
Lampiran 4.7 Addition	Harga Rata-rata Impor Komoditi Peternakan Tahun 1993 <i>Average Import Price of Livestock Commodities, 1993</i>	L-46

Lampiran 4.8 <i>Addition</i>	Neraca Ekspor Impor Komoditi Peternakan, 1993 <i>International Trade Balance of Export Import of Livestock Commodities, 1993</i>	L-47
Lampiran 5.1 <i>Addition</i>	Penyaluran Pupuk Sektor Pertanian MT 1993 s.d September 1993 dan Perbandingan dengan MT Sebelumnya Pada Periode yang Sama <i>Distribution of Fertilizer in the Agriculture Sector, PS 1993 (as of September 1993)</i>	L-48
Lampiran 5.2 <i>Addition</i>	Penyaluran Pupuk dan Pestisida Untuk Tanaman Pangan MT 1993 s.d Juli 1993 dan Perbandingannya dengan MT Sebelumnya Pada Periode yang Sama <i>Distribution of Fertilizer and Pesticide for Food Crops PS 1993 (as of July 1993)</i>	L-49
Lampiran 5.3 <i>Addition</i>	Penyaluran KUT Intensifikasi Padi dan Palawija MT 1993 s.d 30 Juli 1993 dan Perbandingannya dengan MT Sebelumnya Pada Periode yang Sama <i>Disbursement of Farm's Credit for Paddy and Secondary Food Crops Intensification, PS 1993 (as of 30 July 1993)</i>	L-50
Lampiran 5.4 <i>Addition</i>	Perkembangan Penyaluran dan Pengembalian Kredit Intensifikasi Padi dan Palawija, Keadaan 31 Juni 1993 <i>Credit Disbursement and Repayment of Paddy and Secondary Food Crops Intensification, as of 31 June 1993</i>	L-51
Lampiran 5.5 <i>Addition</i>	Realisasi/Pengembalian Kredit Program Massal (Inpres 9/1989) Khusus Bimas/Inmas Padi dan Palawija Sebelum dan Setelah 30 Juni 1981 (MT 1975/76 s/d MT 1983) dan Tunggakan Kredit MT 1983/84 s/d MT 1984/85 Keadaan Sampai 30 Juni 1993 <i>Credit Realization/ Repayment of Mass Program (Inpres 9/1989) Paddy and Secondary Food Crops Bimas/Inmas ,before and after 30 June 1981 (PS 1975/76 - PS 1983) and Unrepaid Credits PS 1983/84 - PS 1984/85, as of 30 June 1993</i>	L-52
Lampiran 5.6 <i>Addition</i>	Realisasi Kredit Intensifikasi Ternak Kerja T.A 1985/86 s.d T.A 1993/94 Keadaan Juli 1993 <i>Credit of Drought Animals Intensification, F.Y. 1985/86 - 1993/94 F.Y. 1993/1994, as of July 1993</i>	L-53

Lampiran 5.7 Addition	Realisasi Kredit Intensifikasi TRI T.A 1985/86 s/d T.A 1993/94 Keadaan Juni 1993 <i>Credit of Mass Sugarcane Intensification (TRI) F.Y. 1985/86 - F.Y. 1993/94 , as of June 1993</i>	L-54
Lampiran 5.8 Addition	Perkembangan Realisasi Tanam Intensifikasi Padi Kumulatif Per Bulan MT 1991, MT 1992 dan MT 1993 Berdasarkan Laporan yang Masuk Pada Periode yang Sama <i>Area Planted of Paddy Intensification by PS 1991, PS 1992, and PS 1993</i>	L-55
Lampiran 5.9 Addition	Perkembangan Realisasi Tanam Intensifikasi Jagung Kumulatif Per Bulan MT 1991, MT 1992 dan MT 1993 Berdasarkan Laporan yang Masuk Pada Periode yang Sama <i>Area Planted of <u>Maize</u> Intensification PS 1991, PS 1992 and PS 1993</i>	L-56 L 51
Lampiran 5.10 Addition	Perkembangan Realisasi Tanam Intensifikasi Kedelai Kumulatif Per Bulan MT 1991, MT 1992 dan MT 1993 Berdasarkan Laporan yang Masuk Pada Periode yang Sama <i>Area Planted of Soybean Intensification, Planting Season 1991, 1992, 1993</i>	L-57
Lampiran 5.11 Addition	Realisasi Intensifikasi Mina Padi MT 1993 s.d 20 Agustus 1993 dan Perbandingannya dengan MT Sebelumnya Pada Periode yang Sama <i>Area Planted of Mina Paddy Intesification PS 1993 as of 20 August 1993</i>	L-58
Lampiran 5.12 Addition	Perkembangan Realisasi INTEK T.A 1993/1994 s.d 21 Agustus 1993 dan Perbandingan dengan T.A 1992/1993 dan T.A 1991/1992 <i>Area Planted of Drought Animal Intensification F.Y 1993/1994 as of 21 August 1993</i>	L-59
Lampiran 5.13 Addition	Perkembangan Realisasi INTAB T.A 1993/94 s.d 20 Agustus 1993 dan Perbandingan dengan T.A 1992/93 dan T.A 1991/92 <i>Area Planted of Native Chicken Intensification 1993/1994 as of 20 Agust 1993</i>	L-60
Lampiran 5.14 Addition	Perkembangan Areal Tanam Tebu Rakyat Intensifikasi (TRI) MTT.1990/91 s/d MTT. 1993/94 Pada Juli 1993 <i>Planted Areas of Mass Sugarcane Intensification PS.1990/91 - PS.1993/94, July 1993</i>	L-61

Lampiran 5.15 Addition	Luas Areal Tanam Intensifikasi Perkebunan Agustus 1993 <i>Planted Areas of Estate Crops Intensification, August 1993</i>	L-62
Lampiran 5.16 Addition	Luas Areal Panen Intensifikasi Perkebunan Agustus 1993 <i>Harvested Areas of Estate Crops Intensification, August 1993</i>	L-63
Lampiran 5.17 Addition	Produksi Intensifikasi Perkebunan Agustus 1993 <i>Production of Estate Crops Intensification, August 1993</i>	L-64
Lampiran 5.18 Addition	Produktivitas Intensifikasi Perkebunan Agustus 1993 <i>Yield of Estate Crops Intensification, August 1993</i>	L-65
Lampiran 5.19 Addition	Rencana dan Realisasi Program INTAM MT 1993 (Berdasarkan Laporan yang Masuk s.d 18 Agustus 1993) <i>Target and Realization of Fishpond Intensification (INTAM) Program PS 1993 (as of 18 August 1993)</i>	L-66
Lampiran 5.20 Addition	Perbandingan Realisasi Program INTAM MT 1993 dengan MT 1992 dan MT 1991 pada Periode yang Sama (s.d Agustus 1993) <i>Comparison of Fishpond Intensification (INTAM) Program Realization PS 1993 with PS 1992 and PS 1991 on Base Period (as of August 1993)</i>	L-67
Lampiran 5.21 Addition	Realisasi Penyaluran dan Pengembalian Kredit INTAM (Kredit Investasi Kecil/ KIK dan Kredit Modal Kerja Permanen/ KMKP) dari T.A 1986/1987 s.d 1990/1991 (Keadaan Bulan Juni 1993) <i>Disbursement and Repayment of Fishpond Intensification (INTAM) Credit (Small Scale Investment Credits/KIK and Permanent Working Capital Credits/ KMKP) , F.Y. 1986/1987 - 1990/91 (as of June 1993)</i>	L-68
Lampiran 5.22 Addition	Rencana dan Realisasi Program INTAM TA 1993/1994 (MT 1993) Atas Dasar Laporan yang Masuk s.d 18 Agustus 1993 <i>Target and Realization of Fishpond Intensification (INTAM) Program, F.Y. 1993/1994 (PS 1993) as of 18 August 1993</i>	L-69

Lampiran 5.23 <i>Addition</i>	Realisasi INTAM TA 1993/1994. (Swadana MT 1993) Atas Dasar Laporan Masuk s.d 19 Juni 1993 <i>Realization of Fishpond Intensification (INTAM) F.Y. 1993/1994 (Self Financing/ Swadana MT 1993), as of 19 June 1993</i>	L-70
Lampiran 5.24 <i>Addition</i>	Perkembangan Realisasi Penyaluran dan Pengembalian Kredit INTAM (KIK dan KMKP) TA 1986/1987 dan 1987/1988 Keadaan s.d Juni 1993 <i>Disbursement and Repayment of Fishpond Intensification (INTAM) Credit (Small Scale Investment Credits/ KIK and Permanent Working Capital Credits/ KMKP), F.Y. 1986/1987 and 1987/1988, as of June 1993</i>	L-71
Lampiran 5.25 <i>Addition</i>	Perkembangan Realisasi Pemyaluran dan Pengembalian Kredit INTAM (KIK dan KMKP) TA 1988/1989 dan 1990/1991 Keadaan s.d Juni 1993 <i>Disbursement and Repayment of Fishpond Intensification (INTAM) Credit (Small Scale Investment Credits/ KIK and Permanent Working Capital Credits/ KMKP) F.Y. 1988/1989 and 1990/1991 as of June 1993</i>	L-72
Lampiran 6.1 <i>Addition</i>	Realisasi Fisik Program/Proyek Pembangunan Pertanian T.A 1993/94 Menurut Eselon I Bulan April - Juli 1993 <i>Physical Realization of Agriculture Development Program/Project by Ecelon I, April - July 1993</i>	L-73
Lampiran 6.2 <i>Addition</i>	Realisasi Keuangan Program/Proyek Pembangunan Pertanian T.A 1993/94 Menurut Eselon I Bulan April - Juli 1993 <i>Financial Realization of Agriculture Development Program/Project by Ecelon I, April - July 1993</i>	L-74
Lampiran 6.3 <i>Addition</i>	Realisasi Fisik Program/Proyek Pembangunan Pertanian T.A 1992/93 Menurut Program Bulan April - Juli 1993 <i>Physical Realization of Agriculture Development Program/Project by Program, April - July 1993</i>	L-75
Lampiran 6.4 <i>Addition</i>	Realisasi Keuangan Program/Proyek Pembangunan Pertanian T.A 1993/94 Menurut Program Bulan April - Juli 1993	L-76

	<i>Financial Realization of Agriculture Development Program/Project F.Y. 1993/94 by Program, April - July 1993</i>	
Lampiran 6.5 Addition	Perkembangan Absensi Laporan Program/Proyek Pembangunan Pertanian yang Masuk Menurut Eselon I Bulan April - Juli 1993 <i>Report Presentation of Agriculture Development Program/Project by Ecelon I, April - July 1993</i>	L-77
Lampiran 6.6 Addition	Perkembangan Disbursement Proyek Bantuan Luar Negeri Lingkup Departemen Pertanian Menurut Donor Bulan April - Juli 1993 <i>Disbursement of Foreign Funded Project in the Ministry of Agriculture by Support, April - July 1993</i>	L-78
Lampiran 7.1 Addition	Perkembangan Realisasi Anggaran Rutin Departemen Pertanian T.A 1993/94 Bulan April - Juli 1993 <i>Realization of Routine Expenditures in the Ministry of Agriculture F.Y. 1993/94, April - July 1993</i>	L-80
Lampiran 7.2 Addition	Perkembangan Realisasi Anggaran Rutin Departemen Pertanian T.A 1993/94 Menurut Jenis Pengeluaran Utama Bulan April - Juli 1993 <i>Realization of Routine Expenditures in the Ministry of Agriculture F.Y. 1993/94 By Type of Expenditures, April - July 1993</i>	L-81
Lampiran 7.3 Addition	Perkembangan Laporan Anggaran Rutin Departemen Pertanian T.A 1993/94 <i>Routine Expenditures Reports in the Ministry of Agriculture F.Y. 1993/94</i>	L-82
Lampiran 8.1 Addition	Indeks Tanaman Bahan Makanan (ITBM), Indeks Tanaman Perdagangan Rakyat (ITPR) dan Indeks Yang Diterima Petani (IT) 4 Propinsi di Pulau Jawa (1983=100) <i>Index of Farm Food Crops, Index of People Produce & Commercial Crops and Index of Received Prices Farmer's, 4 Province in Java Island (1983=100)</i>	L-83
Lampiran 8.2 Addition	Indeks Tanaman Bahan Makanan (ITBM), Indeks Tanaman Perdagangan Rakyat (ITPR) dan Indeks yang Diterima Petani (IT) 9 Propinsi di Luar Pulau Jawa (1987=100)	L-84

	<i>Index of Farm Food Crops, Index of People Commercial Crops and Index of Received Prices Farmer's, 9 Provinces in Outer Java Island (1987=100)</i>	<i>Annex</i>
Lampiran 8.3 Addition	Indeks Konsumsi Rumah Tangga Petani (IKR), Indeks Biaya Produksi dan Barang Modal (IBM) dan Indeks Yang Dibayar Petani (IB) 4 Propinsi di Jawa (1983=100) <i>Index of Farmers Households Consumption, Index of Production and Capital Goods Cost and Index of Prices Paid by Farmers, 4 Province in Java (1983=100)</i>	L-85
Lampiran 8.4 Addition	Indeks Konsumsi Rumah Tangga Petani (IKR), Indeks Biaya Produksi dan Barang Modal (IBM) dan Indeks Yang di Bayar Petani (IB) 9 Propinsi di Jawa (1987=100) <i>Index of Farmers Households Consumption, Index of Production and Capital Goods Cost and Index of Prices Paid by Farmers, 9 Province in Java</i>	L-86
Lampiran 8.5 Addition	Indeks Nilai Tukar (NT) Petani di Jawa dan Luar Jawa, (1987=100) <i>Index of Farmers' Terms of Trade in Java and Outer Island, (1987=100)</i>	L-87
Lampiran 8.6 Addition	Tingkat Inflasi Bulanan di Daerah Pedesaan dan Kota <i>Monthly Inflation Rate in Rural and Urban Area</i>	L-88
Lampiran 8.7 Addition	Harga Produsen, Harga Konsumen dan Margin Tata Niaga Padi dan Palawija Bulan Maret - Mei 1993 <i>Producer Prices, Consumer Prices and Trade Margin of Paddy and Secondary Food Crops, March - May 1993</i>	L-89
Lampiran 8.8 Addition	Harga Produsen, Harga Konsumen dan Margin Tata Niaga Sayuran Bulan Mei - Juli 1993 <i>Producer Prices, Consumer Prices and Trade Margin of Vegetables, May - July 1993</i>	L-90
Lampiran 8.9 Addition	Harga Produsen, Harga Konsumen dan Margin Tata Niaga Buah-buahan Bulan Maret - Juni 1993 <i>Producer Prices, Consumer Prices and Margin Trade of Major Fruits, March - June 1993</i>	L-91
Lampiran 9.1 Addition	Luas Tambah, Keadaan Serangan dan Pengendalian Padi di Indonesia	L-92

	<i>Areas of Pest Damage Condition and Pest Control of Paddy in Indonesia</i>	
Lampiran 9.2 Addition	Luas Tambah, Keadaan Serangan dan Luas Pengendalian OPT Palawija di Indonesia <i>Areas of Pest Damage Condition and Pest Control (Integrated Pest Control Operation/ OPT) for Secondary Food Crops in Indonesia</i>	L-93
Lampiran 9.3 Addition	Luas Tambah, Keadaan Serangan dan Pengendalian OPT pada Tanaman Hortikultura (Periode Pengamatan Juni I dan II 1993) <i>Areas of Pest Damage Condition and Pest Control (Integrated Pest Control Operation/ OPT) for Horticulture Crops (Observation on June I and II, 1993)</i>	L-95
Lampiran 9.4 Addition	Kumulatif Luas Tambah, Luas Keadaan Serangan dan Luas Pengendalian OPT Musim Kemarau 1993 s.d 30 Juni 1993 <i>Cumulative Areas of Pest Damage Condition and Pest Control (Integrated Pest Control Operation/ OPT), Dry Season 1993 as of 30 June 1993</i>	L-96
Lampiran 9.5 Addition	Luas Tanam Padi Yang Terkena Bencana Alam (Periode 16 -30 Juni 1993) <i>Areas Damaged of Paddy by Natural Disasters (Period 16 - 30 June 1993)</i>	L-97
Lampiran 9.6 Addition	Luas Tanam Palawija Yang terkena Bencana Alam (Periode 16 - 30 Juni 1993) <i>Areas Damaged of Secondary Food Crops by Natural Disasters (16 - 30 June 1993)</i>	L-98
Lampiran 9.7 Addition	Luas Tambah dan Kumulatif Kerusakan Tanaman Padi dan Palawija Karena Banjir dan Kekeringan MK 1992 dan MK 1993 di Indonesia <i>Cumulative Areas Damaged of Paddy and Secondary Food Crops by Flood and Drought, Dry Season 1992 and 1993 in Indonesia</i>	L-99
Lampiran 9.8 Addition	Realisasi Kegiatan Penanggulangan Kemiskinan TA. 1993/94 <i>Realization of Poverty Alleviation Activities, F.Y. 1993/94</i>	L-100
Lampiran 9.9 Addition	Target dan Realization Fisik Konstruksi secara Kumulatif s.d Agustus 1993 <i>Cumulative Target and Realization of Physical Construction, as of August 1993</i>	L-101

附屬資料13. 議事録・暫定実施計画 (英文)

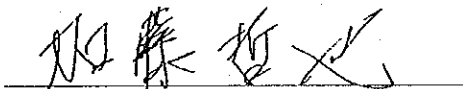
MINUTES OF UNDERSTANDING
BETWEEN THE JAPANESE LONG-TERM SURVEY TEAM
AND THE AUTHORITIES CONCERNED OF THE GOVERNMENT OF
THE REPUBLIC OF INDONESIA
ON THE JAPANESE TECHNICAL COOPERATION
FOR THE AGRICULTURAL STATISTICAL TECHNOLOGY
IMPROVEMENT AND TRAINING PROJECT

The Japanese long-term survey team (hereinafter referred to as "the Team", organized by Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA"), and headed by Mr. Tetsuya Kato, visited The Republic of Indonesia from January 18 to February 15, 1994 for the purpose of confirming the basic framework and the preconditions indicated by the Preliminary Survey Team concerning the Agricultural Statistical Technology Improvement and Training Project in the Republic of Indonesia (hereinafter referred to as "the Project").

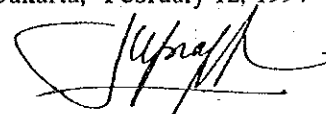
During its stay in the Republic of Indonesia, the Team exchanged views and had a series of discussions with the Government of Indonesia authorities concerned in respect of various issues for sharing the common understanding on the Project.

As a results of the discussions, the team and the Government of authorities concerned agreed to report to their respective Government the matters referred to in the document as attached hereto.

Jakarta, February 12, 1994



Mr. Tetsuya Kato
Leader
Long-Term Survey Team
Japan International Cooperation Agency
Japan



Dr. Ir. Ato Suprpto
Director
Center of Agricultural Data
Ministry of Agriculture,
The Republic of Indonesia

CC : Director General of Food Crops, MOA
Director General of Fisheries, MOA
Head of Bureau Agriculture, Food and Forestry, BAPPENAS
Head of Bureau of Planning, MOA

ATTACHED DOCUMENT

Through extensive discussions on prospective features of the coming Project, both the Japanese and the Indonesia sides agreed on the followings;

1. Purpose of the Project

The purpose of the project is that agricultural statistics activities in the Center of Agricultural Data are improved.

2. Outputs and Activities of the Project

Outputs of the Project:

- (1) Introduction and improvement of the method concerning planning, sampling survey. Statistical analysis regarding to food crop statistics especially in the field of harvested area survey on paddy and secondary crops;
- (2) Introduction and improvement of the method concerning planning, sampling survey, statistical analysis regarding to fishery statistics;
- (3) Introduction and improvement of data processing technology;
- (4) Preparation of the manuals for agricultural statistics activities;
- (5) Implementation of the case-study for agricultural statistics in model areas;
- (6) Improvement of the curriculum and teaching materials for the staff training concerning agricultural statistics;
- (7) Implementation of the training concerning agricultural statistics.

Activities of the Project:

(1) Food Crop Statistics

- (a) Introduction and improvement of the method concerning planning, sampling survey, statistical analysis regarding to food crop statistics especially in the field of harvested area survey on paddy and secondary crops;
- (b) Improvement of the manuals concerning food crop statistics survey;
- (c) Implementation of case-study in model areas.

(2) Fishery Statistics

- (a) Introduction and improvement of methods concerning planning sampling survey, statistical analysis regarding to fishery statistics;
- (b) Improvement of manuals concerning the fishery statistics survey;
- (c) Implementation of case-study in model area.

(3) Data Processing

- (a) Introduction and improvement of the data processing concerning agricultural statistics;
- (b) Improvement of the data utilization method concerning agricultural statistics;
- (c) Introduction to Data Base technology for improvement of data utilization.

(4) Training

- (a) Improvement of training plan and curriculum development;
- (b) Improvement of teaching materials for the training;
- (c) Implementation of the training.

For the implementation of the training program, the items below should be clarified:

- (i) Training objectives
- (ii) contents of the training activities
- (iii) Target group
- (iv) Training courses
- (v) Necessary inputs from both sides
- (vi) Expected outputs

And the Indonesia side should submit to the Japanese side the overall training program of the Project by the end of February 1994.

Note : "secondary crop" means maize, sweet potato, cassava, groundnut and soybean.

3. Input from Japanese side

(1) Experts

Five (5) experts will be dispatched as follows:

- a) Team Leader
- b) Coordinator
- c) Experts in the fields of:
 - (i) Food Crop Statistics
 - (ii) Fishery Statistics
 - (iii) Data Processing

Note : Coordinator and experts cover the training activities.
Short-term experts will be dispatched when the need arises for smooth implementation of the Project.

(2) Machinery and equipment

The following equipment will be provided:

- a) Equipment necessary for statistical survey
- b) Equipment necessary for data processing
- c) Equipment necessary for case-study in model areas
- d) Equipment necessary for training

(3) Training of Indonesia personnel in Japan

Some Indonesia personnel connected with the project will be received technical training in Japan each year.

4. Input from Indonesia side

- (1) Indonesia counterpart, administrative personnel and others
 - (a) Project director (Secretary General, Ministry of Agriculture)
 - (b) Project Manager (Director, Center of Agricultural Data, MA)
 - (c) Counterpart personnel in the fields of:
 - (i) Food Crop Statistics
 - (ii) Fishery Statistics
 - (iii) Data Processing
 - (iv) Training
 - (d) Administrative Personnel
 - (i) Administration
 - (ii) Accounting
 - (e) Counterpart Personnel for each field of Short-term Experts
 - (f) Technical staff in model areas
 - (i) DINAS Kb.
 - (ii) Mantri tani, Mantri ikan, and Petugas Penyuluh Lapangan (PPL)

 - (2) Land, buildings and facilities
 - a) Buildings, facilities and office space for Japanese experts in CAD
 - b) Working space for Japanese experts in model areas
 - c) Electricity and communication facilities
 - e) Other land and facilities necessary for the implementation of the Project

 - (3) Running expenses
Running expenses necessary for the implementation of the Project (including model area)
 - a) Project running cost
 - b) Maintenance cost for the provided machinery and transport equipments
-

- c) Training budget
- d) Travelling allowance for the Experts and C/Ps.

5. Joint Coordinating Committee

(1) Functions

The Joint Coordinating Committee composed of those members as listed in (2) below will meet at least once a year and whenever need arises, and function:

- a) to give direction and guidance to the activities carried out by the Project and to coordinating inter-related activities within MOA and other related agencies;
- b) to review and approve the annual Work Plan of the Project to be formulated under the framework of the Record of discussion;
- c) to review the overall progress of the technical cooperation program as well as the achievements of the Annual Work Plan;
- d) to review and exchange view on major issues arising from or in connection with the technical cooperation program.

(2) Composition

- a) Chairperson
Secretary General, MOA
- b) Indonesia side
 - (i) Director of Bureau of Planning, MOA
 - (ii) Head of Bureau, Agriculture, Food and Forestry, Agency of National Development Planning
 - (iii) Representative, Central Bureau of Statistics
 - (iv) Representative, Cabinet Secretary
 - (v) Representative, Director General of Fishery, MOA
 - (vi) Representative, Director General of Fishery, MOA
 - (vii) Representative, Director General of Estate Crops, MOA

- (viii) Representative, Director General of Livestock, MOA
- (ix) Director, Center of Agricultural Data, MOA

c) Japanese Side

- (i) Japanese Experts
- (ii) Representative from JICA Indonesia Office
- (iii) Personnel concerned to be dispatched by JICA, if necessary

Note : Official of the Embassy of Japan may attend the joint Coordinating Committee as observers.

6. Tentative Schedule of Implementation (Draft)

See Annex 1.

7. PRECONDITIONS

(1) The organization, personnel, function and legal status of the CAD

The pre-condition had been clarified by the Preliminary Survey Mission. But furthermore, for the preparation of the Project, the CAD is planning to re-build the organization for further enhancement of its function and for smooth implementation of the Project (ANNEX - 2). The CAD is waiting for the final approval from the authority.

Therefore, the said pre-condition above is seemed satisfied.

(2) Assignment of necessary number of Counterpart personal with qualification

In addition to the number of the assigned C/Ps which was verified by the Preliminary Survey Team, five more C/Ps from the CAD were assigned. The total number of the C/Ps assigned to respective JICA expert is eighteen (18) in all; twelve (12) from the CAD, three from each DGs (ANNEX - 3).

FIELD OF ASSIGNMENT

NUMBER OF C/Ps

- | | |
|-------------------------|---------------------------|
| a) Food crop statistics | 6 person (3 CAD, 3 DGFC) |
| b) Fishery statistics | 6 person (3 CAD, 3 DGF) |
| c) Data processing | 4 person (4 CAD) |
| d) Training program | 2 program (2 CAD) |

- (3) Reconfirmation of cooperation from the Directorates General concerned and the CBS on the implementation of the Project.

The Team reconfirmed the cooperation from the CBS on the implementation of the Project when the Team made an official visit to the CBS. As stated in the response to MOA in last October, the Director of Agricultural Statistic Bureau of the CBS stated the Team that the CBS understand its purpose and principally the CBS will fully support it.

- (4) **Necessary budget for the Project**

The team verified that the Indonesia counter budget necessary for the implementation of the Project shall be requested to the BAPPENAS through MOA right after signing of the Record of Discussion for the Project.

The team also verified that the following budget should be included : -

- a. Project running cost
- b. Maintenance cost for vehicles and equipments (including Model Area)
- c. Training program budget
- d. Travelling allowance for C/Ps
- e. Contingencies

(5) Facilities for supporting the Project activities the two in Model Areas

The team requested that before the Project begins, the facilities listed below should be secured by Indonesian side through the DINAS Kabupaten in the two Model Areas indicated 8. below after the signing of R/D .

The observation trip to both Model Areas tells us that both DINAS Kabupatens seem to have proper facilities for the Expert and C/Ps to work which include :

- a) working space for the expert & C/Ps at the DINAS office and power & telecommunication facilities,
- b) training facilities at DINAS Kabupaten.

(6) Building and facilities prepared by Indonesia side for training including at DINAS Kabupaten

As verified by the Preliminary Survey Team, lecture room, computer lab., and other facilities & equipment necessary for the training are basically well prepared.

The Team requested when the CAD moves to the new building in April, 1995, the training facilities equal to or more than present level, should secured and maintained by the CAD.

8. Model Areas

Six Kabupatens are recommended by Indonesian side with a view to enable comparative studies of the survey methods under different conditions concerning land use, agricultural production, composition of farm size groups etc., taking into consideration of the following conditions;

- 1) the location of the District Office is reasonably close to the Capital,
- 2) personnel with sufficient experience and skills, are assigned in District Offices,
- 3) equipments and facilities to be installed by the project will be safely stored and maintained,
- 4) the Kabupaten has coastal area where exists major landing place of marine fishery catches,
- 5) Area planted with rice and secondary crops in the Model Area is greater than the average of that in all Kabupaten within West Java.

Considering the above conditions, after one-week observation trip with CAD personnel to six Kabupatens, the Team recommends the CAD kb. SUKABUMI and kb. SERANG as Model areas.

The contents of major activities at the said Model areas are:-

- 1) Survey and study on present situation in agriculture or fishery,
- 2) Adaptability test of improved survey methodology,
 - a) small-scale trials of improved methods on food crop and fishery survey
 - b) final testing survey on above trials
- 3) Adaptability test of data processing methods,
- 4) Advisory guidance for improvement of statistical survey and data processing by feed-back,
- 5) Trial field for statistical survey methodology.

ANNEX I

TENTATIVE SCHEDULE OF IMPLEMENTATION (DRAFT)

I. Activities of the Project

Fields of Cooperation and main of activities	Year	1	2	3	4	5	Remarks
1. Food crop statistics							
(1) Introduction and improvement of the method concerning planning, sampling survey, statistical analysis regarding to food crop statistics			XXX	XXX	XXX	XXX	
(2) Improvement of the manual concerning food crop statistics survey			XXX	XXX	XXX	XXX	
(3) Implementation of case-study in model area			XXX	XXX	XXX	XXX	
2. Fishery statistics							
(1) Introduction and improvement of the method concerning planning, sampling survey, statistical analysis regarding to Fishery statistics	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	
(2) Improvement of the manual concerning food crop statistics survey		XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	
(3) Implementation of case-study in model area		XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	
3. Data Processing							
(1) Introduction and improvement of the data processing concerning agricultural statistics	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	
(2) Improvement of the data utilization method concerning agricultural statistics			XXX	XXX	XXX	XXX	
(3) Introduction of Data Base technology for improvement Data Utilization			XXX	XXX	XXX	XXX	
4. Training							
(1) Improvement of training plan and curriculum;	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	
(2) Improvement of teaching materials for the training;	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	
(3) Implementation of the training.		XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	

II. Input on the Technical Cooperation Program (Japanese side)

Input of Japanese side	Year	1	2	3	4	5	Remarks
I. Long-Term experts							
(1) Team Leader		XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	
(2) Coordinator		XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	
(3) Food crop statistics		XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	
(4) Food crop statistics		XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	
(5) Data Processing		XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	
2. Short-Term expert(s)		---	---	---	---	---	when the need arises
3. Equipment and Machinery							
(1) Equipment necessary statistical survey		XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	
(2) Equipment necessary for data processing		XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	
(3) Equipment necessary for case-study in model area		XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	
(4) Equipment necessary for Training		XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	
4. Training of Indonesia personnel in Japan		---	---	---	---	---	Some person a year
5. Dispatch of Survey Team		---	---	---	---	---	

III. Input on the Technical Cooperation Program (Indonesian side)

Input of Indonesian side	Year	1	2	3	4	5	Remarks
1. Assignment of Counterpart and Administrative Personnel							
(1) Project Director		XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	
(2) Project Manager		XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	
(3) Counterpart Personnel in the fields of:							
(a) Food crop statistics		XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	
(b) Fishery statistics		XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	
(c) Data processing		XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	
(d) Training		XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	
(4) Administrative Personnel							Two (2) each counterpart personnel for
(a) Administration		XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	
(a) Accounting		XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	(3)-(a),(b),(c),(d)
(5) Counterpart Personnel for each field of Short-Term Expert (s)		XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	
2. Allocation of Running Expenses of the Project		XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	
3. Provision of Land, Buildings and other necessary facilities		XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	

附属資料14. 議事録・暫定実施計画（和文仮訳）

（仮 訳）

日本国長期調査チームと
インドネシア共和国関係者との間の
農業統計技術改善・訓練計画に関する
日本の技術協力についての
了解ミニッツ

国際協力事業団（以下「JICA」という。）によって組織され、加藤哲也氏を団長とする日本国長期調査団（以下「調査団」という。）は、インドネシア共和国農業統計技術改善・訓練プロジェクト（以下「プロジェクト」という。）に関して事前調査団が定めた基本フレームワークと前提条件を確認することを目的として、インドネシア共和国を1994年1月18日から2月15日までの間に訪問した。

調査団は、インドネシア共和国に滞在中、インドネシアの関係者と種々の問題に関する意見交換と一連のディスカッションを行い、プロジェクトについての共通理解を形成することに努めた。

これらのディスカッションの結果、調査団とインドネシアの関係者は、それぞれの政府に対し、このミニッツに付属する文書に述べる事項を報告することに合意した。

ジャカルタ、1994年2月12日

Mr. 加藤哲也
日本国国際協力事業団
長期調査団長

Dr. Ir. Ato Suprpto
インドネシア共和国
農業省農業データセンター所長

付属文書

実施すべきプロジェクトの想定される内容についての広い範囲に及ぶディスカッションを通じて、日本側とインドネシア側の双方は以下について合意した。

1. プロジェクトの目的

プロジェクトの目的は、農業データセンターの農業統計業務が改善されることである。

2. プロジェクトの成果および活動

プロジェクトの成果

- (1) 食用作物統計，特に米及び2次作物の収穫面積の分野の統計の企画，
標本調査及び統計分析に関する方法の導入・改善
- (2) 水産統計の企画，標本調査及び統計分析の方法の導入・改善
- (3) 集計技術の導入・改善
- (4) 農業統計業務マニュアルの整備
- (5) モデル地区におけるケース・スタディの実施
- (6) 職員の農業統計研修のカリキュラム，教材の改善
- (7) 農業統計研修の実施

プロジェクトの活動

- (1) 食用作物統計
 - a) 食用作物統計，特に米及び2次作物の収穫面積の分野の統計の企画，標本調査及び統計分析の方法の導入・改善
 - b) 食用作物統計調査マニュアルの改善
 - c) モデル地区におけるケース・スタディの実施
- (2) 水産統計
 - a) 水産統計の企画，標本調査及び統計分析の方法の導入・改善
 - b) 水産統計調査マニュアルの改善
 - c) モデル地区におけるケース・スタディの実施

(3) 集計技術

- a) 農業統計の集計技術の導入・改善
- b) 農業統計のデータ利用方法の改善
- c) データ利用改善のためのデータベース技術の導入

(4) 研修

- a) 研修計画, カリキュラムの改善
- b) 研修教材の改善
- c) 研修の実施

※研修計画の実施に当たっては、下記事項を明確にする。

- i) 研修目標
- ii) 研修内容
- iii) 研修対象者
- iv) 研修コース
- v) 投入資材
- vi) 期待される効果

なお、インドネシア側は、プロジェクトの研修計画の概要を1994年2月末日までに、日本側に提出する。

注：「2次作物」とは、とうもろこし、かんしょ、キャッサバ、らっかせい及び大豆をいう。

3. 日本側投入

(1) 専門家

以下の5名の専門家が派遣される。

- a) チーム・リーダー
- b) 業務調整
- c) 専門家の分野：
 - i) 食用作物統計
 - ii) 水産統計
 - iii) 集計技術

注： 研修に関わる活動は業務調整及び各専門家が実施する。

プロジェクトの円滑な実施のために必要な場合には、短期専門家が派遣される。

(2) 機材

以下の機材を供与する。

- a) 統計調査に必要な機材

- b) 集計技術に必要な機材
 - c) モデル地区でのケース・スタディに必要な機材
 - d) 研修に必要な機材
- (3) インドネシア職員の研修のための日本への受入れ
プロジェクトに関係する職員を毎年数名日本において訓練する。

4. インドネシア側投入

- (1) インドネシア側のカウンターパート及び事務職員等
- a) プロジェクト・ダイレクター（農業省事務次官）
 - b) プロジェクト・マネージャー（農業省農業データセンター所長）
 - c) 以下の分野におけるカウンターパート職員
 - i) 食用作物統計
 - ii) 水産統計
 - iii) 集計技術
 - iv) 研修
 - d) 事務職員
 - i) 事務
 - ii) 経理
 - e) 短期専門家の分野別のカウンターパート職員
 - f) モデル地区における技術職員
 - i) 県事務所
 - ii) マントリタニ, マントリイカン及び普及員 (PPL)
- (2) 土地, 建物及び施設
- a) CADにおける日本人専門家用の建物, 施設及び事務スペース
 - b) モデル地区における日本人専門家用作業スペース
 - c) 研修用建物及び施設
 - d) 電気及び通信施設
 - e) その他プロジェクト実施に必要な土地及び施設
- (3) 運営費
- プロジェクト実施に必要な運営費（モデル地区を含む）
- a) プロジェクト運営経費
 - b) 供与機器及び輸送設備の保守・管理費
 - c) 研修予算
 - d) 専門家及びカウンターパートの出張旅費

5. 合同調整委員会

(1) 機能

合同調整委員会 (Joint Coordinating Committee) は、(2)に掲げる委員により構成され、最低年1回及び必要に応じて開催され、次の機能を果たす。

- a) プロジェクト活動について指導、助言を与えるとともに、農業省内や他の関係機関との間で相互に関連する活動の調整を行う。
- b) 討議議事録のフレームワークの下で作成されるプロジェクトの年間業務計画のレビュー及び認可を行う。
- c) 技術協力プログラムの全体的な進捗及び年間作業計画の成果についてレビューする。
- d) 技術協力プログラムの実施に伴い、又はそれに関連して生起する主要問題についてレビューし、意見交換を行う。

(2) 構成

- a) 議長
農業省事務次官
- b) インドネシア側
 - i) 農業省計画局長
 - ii) 国家開発企画庁農業食料林業局長
 - iii) 中央統計局代表者
 - iv) 内閣事務局代表者
 - v) 農業省食用作物農業総局代表者
 - vi) 農業省水産総局代表者
 - vii) 農業省エステート作物総局代表者
 - viii) 農業省畜産総局代表者
 - ix) 農業省農業データセンター所長
- c) 日本側
 - i) 日本人専門家
 - ii) JICAインドネシア事務所代表者
 - iii) 必要に応じてJICAが派遣する関係者

注：日本大使館員は合同調整委員会にオブザーバーとして参加することができる。。

6. 暫定実施計画（案）

付1を参照されたい。

7 前提条件

(1) CADの組織、職員、機能及び法的位置づけ

CADの組織、職員、機能及び法的位置づけは、事前調査においてすでに確認されたとおりであるが、更にCAD側では、本プロジェクトの受入れにあたり、その機能の拡充及びプロジェクトの円滑な推進を図るため、付2 のとおり内部組織の変更を予定している。

以上のことから、本プロジェクトの実施主体であるCADの組織、職員、機能及び法的位置づけについては、充分整っているものと判断される。

(2) 有資格カウンターパート職員の任命

事前調査で確認されたカウンターパート任命リストに加え、CAD側から更に、5名のカウンターパートが追加任命されたことにより、専門家に割り当てられたカウンターパート総数は、CADから12名、食用作物総局から3名、水産総局から3名の合計18名となる。(付3 参照)

<u>分野</u>	<u>人員</u>
a)食用作物統計	6人(CAD, DGFC 各3名)
b)水産統計	6人(CAD, DGF 各3名)
c)集計技術	4人(CAD)
d)研修	2人(CAD)

(3) プロジェクト実施にあたって各総局及びCBSからの協力の確認

本調査団は、CBSへの表敬訪問(2月 8日)を行いプロジェクトへの協力について、再度確認した。

なお、CBS農業統計局長からは、本プロジェクトの目的については、理解し全面的な協力を約束する旨の回答文書が昨年8月に農業省に出されている。

(4) プロジェクトに必要な予算

プロジェクトに必要なインドネシア側予算については、R/D締結後速やかに国家開発企画庁（BAPPENAS）に対し、農業省から予算要求することをCAD側と確認した。

また、協議の中で予算要求に際しプロジェクトに必要な下記事項が含まれていることを確認した。

- a) プロジェクト運営経費
- b) 車両及び機材の維持管理費（モデル地区を含む）
- c) 研修経費
- d) 旅費（カウンターパート）
- e) その他必要と認められる経費

(5) モデル地区における活動をサポートする施設

項番8に記す2つのモデル地区の県事務所において、R/D締結後プロジェクト開始までに、以下に記す施設が確保されるよう要請した。

なお、モデル地区への現地調査において、2つの県事務所は専門家及びカウンターパートの作業可能な施設を有していると判断される。すなわち；

- a) 事務所における専門家及びカウンターパートの事務スペース及び電気通信施設
- b) 県事務所における研修用施設

(6) 研修用の建物及び施設（モデル地区の県事務所を含む）

事前調査により確認されている、講義室、実習室及び研修に必要なその他の施設・機材については、その準備は整っている。

なお、1995年4月に予定されている新庁舎移転に際しては、現在準備している施設及び設備と同等又はそれ以上のものが確保されるよう、CAD側に強く要請した。

8 モデル地区

インドネシア側から推薦された6つのカブパテンでは、異なった土地利用、農業生産、農家階層構成のもとで、調査方法の比較検討を行うこととしており、これらを考慮した条件として；

- ①県事務所の位置がジャカルタにできるだけ近いこと
- ②経験と能力を有する農業統計職員が配備されていること
- ③プロジェクトによって設置される機材の管理体制が整っていること
- ④当該県に海に面し、海面漁業漁獲物の主要陸揚地に指定された漁港のあること
- ⑤水稲及び2次作物の作付面積が西ジャワ州全県の平均以上あること

上記諸条件を考慮し、1週間にわたるCAD側との合同現地調査の結果スカブミ、セランの2県をモデル地区として勧告した。

なお、選定したモデル地区で実施する主な活動内容は、下記のとおりとする。

- (1) 農業（漁業）の実態及び現行調査の実情把握（予備調査）
- (2) 改善された統計調査方法の適用性確認
 - a) 食用作物調査及び水産調査の改善方式の小規模試行（パイロット調査）
 - b) 同上調査の最終試行（ファイナル・テスト調査）
- (3) 調査結果の集計方法の適用性確認
- (4) 問題点のフィードバックによる統計調査、集計方法の改善のための指導
- (5) 研修における実技のフィールド

付表 1

暫定実施計画(案)

I プロジェクト活動

主な活動及び協力の分野	年次	1	2	3	4	5	備考
1 食用作物統計							
(1)食用作物統計の企画, 標本調査及び統計分析に関する方法の導入・改善			X X X	X X X	X X X	X X X	
(2)食用作物統計調査マニュアルの改善			X X X	X X X	X X X	X X X	
(3)モデル地区におけるケーススタディーの実施			X X X	X X X	X X X	X X X	
2 水産統計							
(1)水産統計の企画, 標本調査及び統計分析に関する方法の導入・改善	X X X	X X X	X X X	X X X	X X X	X X X	
(2)水産統計調査マニュアルの改善		X X X	X X X	X X X	X X X	X X X	
(3)モデル地区におけるケーススタディーの実施		X X X	X X X	X X X	X X X	X X X	
3 集計技術							
(1)農業統計に関する集計技術の導入・改善	X X X	X X X	X X X	X X X	X X X	X X X	
(2)農業統計に関するデータ利用方法の改善			X X X	X X X	X X X	X X X	
(3)データ利用改善のためのデータベース技術の導入			X X X	X X X	X X X	X X X	
4 研修							
(1)研修計画及びカリキュラムの改善	X X X	X X X	X X X	X X X	X X X	X X X	
(2)研修教材の改善	X X X	X X X	X X X	X X X	X X X	X X X	
(3)研修の実施		X X X	X X X	X X X	X X X	X X X	

II 技術協力投入計画 (日本側)

日本側投入	年次	1	2	3	4	5	備考
1 長期専門家							
(1)チームリーダー		X X X	X X X	X X X	X X X	X X X	
(2)業務調整		X X X	X X X	X X X	X X X	X X X	
(3)食用作物統計		X X X	X X X	X X X	X X X	X X X	
(4)水産統計		X X X	X X X	X X X	X X X	X X X	
(5)集計技術		X X X	X X X	X X X	X X X	X X X	
2 短期専門家		---	---	---	---	---	必要の都度
3 機材							
(1)統計調査に必要な機材		X X X	X X X	X X X	X X X	X X X	
(2)集計技術に必要な機材		X X X	X X X	X X X	X X X	X X X	
(3)モデル地区におけるケーススタディに必要な機材		X X X	X X X	X X X	X X X	X X X	
(4)研修に必要な機材		X X X	X X X	X X X	X X X	X X X	
4 日本におけるインドネシア職員の研修		---	---	---	---	---	年間数名
5 調査団の派遣		---	---	---	---	---	

Ⅲ 技術協力投入計画 (インドネシア側)

インドネシア側投入	年次	1	2	3	4	5	備考
1 カウンターパート及び事務職員の任命							
(1)プロジェクトディレクター		X X X	X X X	X X X	X X X	X X X	
(2)プロジェクトマネジャー		X X X	X X X	X X X	X X X	X X X	
(3)分野別カウンターパート職員							
(a)食用作物統計		X X X	X X X	X X X	X X X	X X X	
(b)水産統計		X X X	X X X	X X X	X X X	X X X	
(c)集計技術		X X X	X X X	X X X	X X X	X X X	
(d)研修		X X X	X X X	X X X	X X X	X X X	
(4)事務職員							
(a)事務		X X X	X X X	X X X	X X X	X X X	(3)のa, b, c, d のための職員
(b)経理		X X X	X X X	X X X	X X X	X X X	
(5)分野別短期専門家のカウンターパート職員		X X X	X X X	X X X	X X X	X X X	
		X X X	X X X	X X X	X X X	X X X	
2 プロジェクト運営経費の支出		X X X	X X X	X X X	X X X	X X X	
3 土地、建物及び必要な設備の提供		X X X	X X X	X X X	X X X	X X X	

JICA

11